



平成12年度 区立中学校
移動教室

ひきふね自動出納

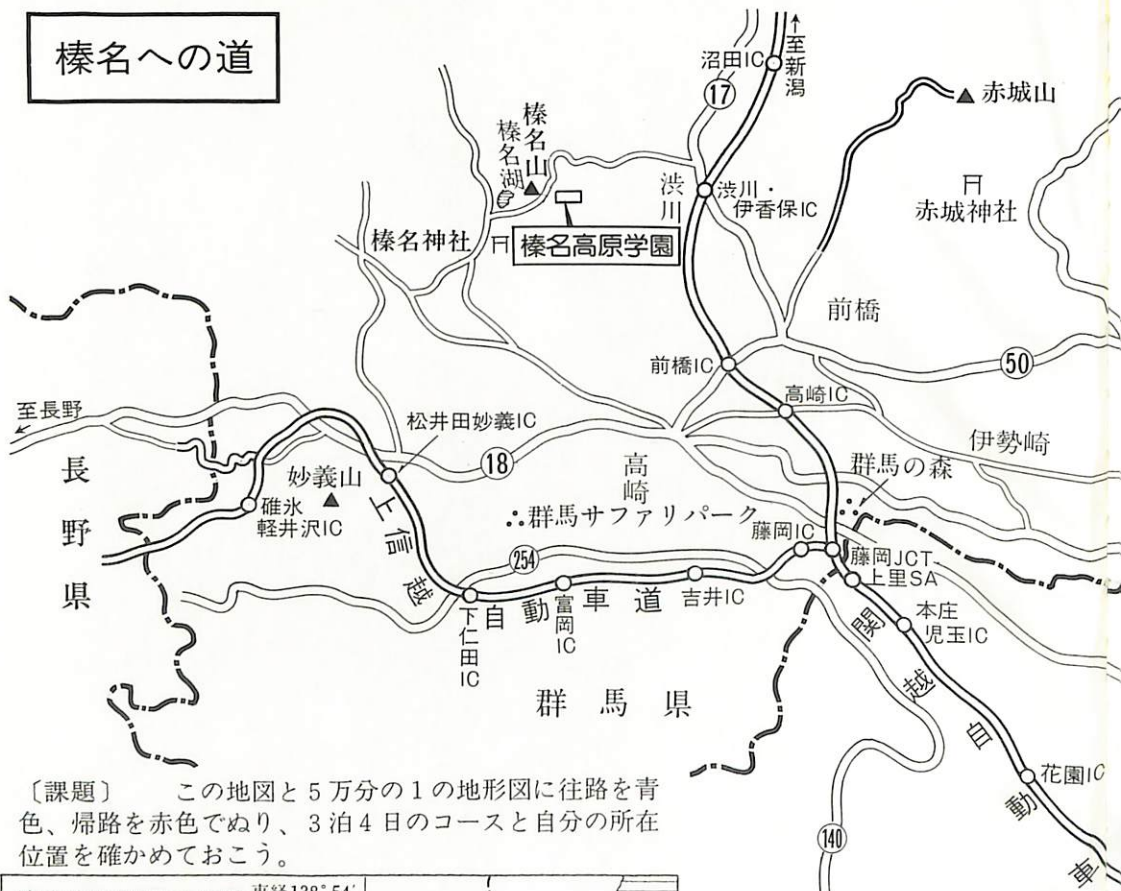


11173109

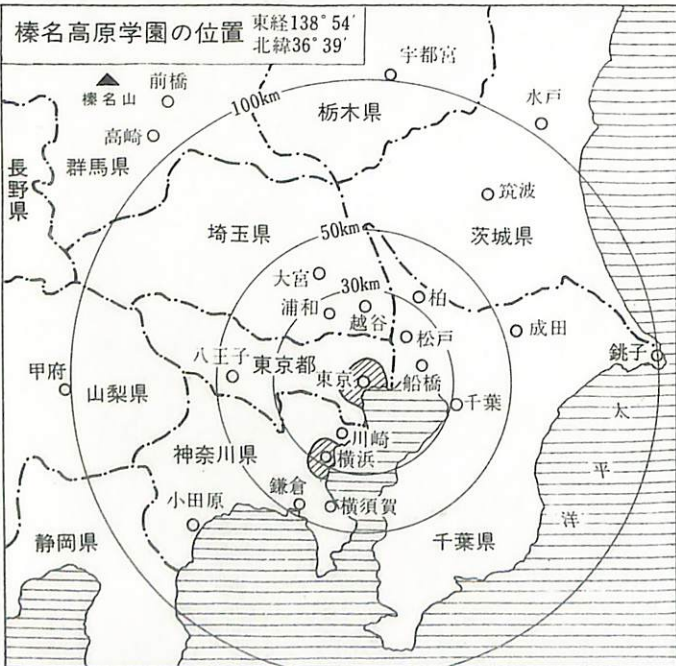
榛名高原学園

墨田区教育委員会

榛名への道



〔課題〕 この地図と5万分の1の地形図に往路を青色、帰路を赤色でぬり、3泊4日のコースと自分の所在位置を確かめておこう。



埼 玉 県

東京都

至甲府



栃 木 県

茨 城 県

千 葉 県

↑至福島

東
北

4

館林IC

高
速
道

熊谷

さきたま古墳群

武蔵丘陵
森林公園

東松山IC

吉見百穴

17

高坂SA

鶴ヶ島IC

16

川越IC

岩槻IC

浦和IC

川口JCT

柏IC

三郷IC

所沢IC

大泉
JCT

練馬IC

墨田区

磐 自動車道
谷田部IC

中 央 自 動 車 道



区立中学校
移動教室

榛名高原学園

群馬県北群馬郡伊香保町大字伊香保字榛原588番地

電話：0279-72-2188



移動教室に参加する皆さんへ

墨田区教育委員会教育長

近 藤 舜 一

上毛三山と呼ばれている山の一つ榛名山に、皆さんの行く中学校二年生用移動教室施設「墨田区立榛名高原学園」があります。工場や自動車のひしめく都会とは全くちがった大自然の雄大で清らかな風光は、私達の心の底まできれいに洗い清めてくれるでしょう。

皆さんは、ここで都会では学べない様々なことを、自分の感覚や体全身をもって学ぶことができるでしょう。指導してくださる先生方の教えに従い、友達同士でよく相談し合って自主的な生活を送り、安全で楽しい移動教室にしてください。

この学習資料集は、生活や学習のよい案内者として役立ててもらうために編集いたしました。これを手引きとし、意欲をもって正しく深く学習されるよう期待しています。



目 次

I. 学園の生活…… 2	§	IV. 文学に描か
	§	れた榛名……33
II. 榛名への道……12	§	
	§	V. 榛名の自然……48
III. 榛名の歴史	§	
と産業……24	§	VI. 楽しい活動
	§	のいろいろ……69

※上の絵は、本区中学生の作品・県営グランドより掃部ヶ岳を望む。

I 学 園 の 生 活

移動教室の意義

区内の12校の中学2年生は、毎年、一年の中で最も気候のよい春、秋に榛名高原で宿泊をとまなう移動教室を実施しています。

それぞれの学校では日常、教科の学習や生徒会活動、クラブ活動など行っていますが、それらの教育活動を補う意味で実施するのが移動教室です。したがって授業の一環として行うわけですから夏季休業中等に実施される林間学校などとは性格が異なります。

榛名高原で実施する移動教室の主な目的は次の三つです。

1. 自然に親しむ機会の少ない墨田区の中学生在が、雄大な自然にふれ、学校内では学習できない自然観察学習を行う。
2. 集団生活を通して、ルールの尊重、友人同士の協力・友愛の心など好ましい社会性を身につける。
3. 先生と生徒が生活をともにし、交流を深め、楽しい思い出をつくり、学校生活の充実を図る。

みなさんの学校では、事前にそれぞれ綿密な計画をたてて今年も移動教室を実施します。前に述べた移動教室の目的を十分に理解して、意義のある校外学習ができるよう努力しましょう。

学園生活

学園生活を楽しく送るため、以下の学園のきまりを守り、他人に迷惑をかけないようにお互いに注意しましょう。

1 宿舎における生活

- (1) 学校関係者へのあいさつを忘れない。
- (2) 放送の合図があったら、静かにして、放送をよく聞く。
- (3) 非常口をよく確かめ、非常の場合は先生の指示に従い冷静に行動する。
- (4) 防火扉や各部屋に備えつけてある火災報知器・非常灯には、絶対に手を触れない（非常の場合は除く）。
- (5) 宿舎内の設備や備品を大切に扱う。
- (6) 宿舎内では、騒いだり、暴れたり、走りまわったり、物を投げたりしない。
- (7) 廊下は静かに右側を歩き、みだりに他の部屋に出入りしない。
- (8) 自分の所持品（記名のこと）は常に整理して、所定の場所に整頓しておく。
- (9) 退出の際は室内を整理し、忘れ物のないようにする。
- (10) 入室や外出の時、スリッパはぬぎ捨てにせず、必ず整頓する。
- (11) 共同で使用する場所はよごさないようにし、トイレでは、サンデルの整頓にも心がける。
- (12) 工事中の場所や、立ち入り禁止の場所には入らない。

2 集 合

- (1) 集合は合図や時程に注意し、敏速に無言で行う。また集会中は静かにする。
- (2) 班長は人員を確認して、先生に報告する。
- (3) 集会のときには、各自の部屋の戸締まりをする。
- (4) 集会時の服装は、各学校で決められた服装にする。

3 清 掃

- (1) 分担区域を、全員で協力して行う。
- (2) ごみは、定められた方法で定められた場所に捨てる。
- (3) 清掃用具はていねいに使い、使用後は所定の場所にもどし整頓する。

4 入 浴

- (1) 入浴の順番に従ってエチケットを守って入浴する。
- (2) 体をよく洗ってから湯ぶねに入り、タオル類は中に入れない。また浴場内では体をふいてから脱衣室に上がり、床をぬらしたらふく。
- (3) 脱衣場に忘れ物のないように注意する。
- (4) 最終に班は協力して清掃、整理整頓をしてから出る。

5 食 事

- (1) 食事当番は、決められた時間に食堂に集合し、全員協力して配膳を行う。
- (2) 一般生徒は、配膳終了後、合図により所定の席つきに静かに待つ。
- (3) 食事の前後には、そろってあいさつをし、残さないようにきれいに食べる。
- (4) 食事後は食器を種類ごとにまとめ、食事当番はカウンターに運び、食卓をふく。

6 就 寝

- (1) 各室の係は第一日目、室員数のシーツ・枕カバーを受けとり、室員に配る（閉園日の朝、数をそろえて返す）。
- (2) 寝具は大切にし、ふとんの上で暴れたり、枕を投げ合ったりしない。
- (3) 消灯後のトイレ使用は静かに行う。

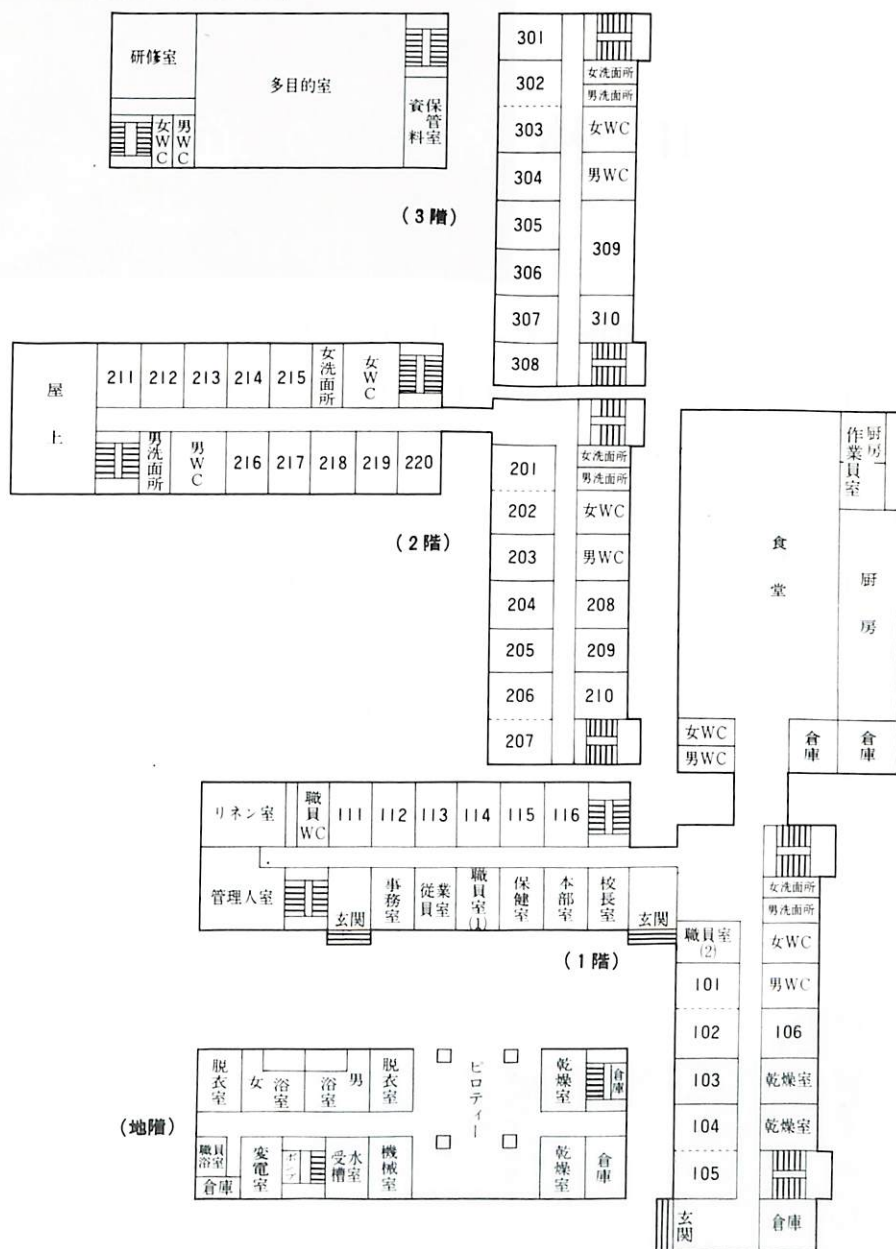
7 起床・洗面

- (1) 起床時刻前に目がさめても、合図のあるまでは静かに床についている。
- (2) 合図で起床し、全員協力して寝具を正しくたたみ、所定の場所にきちんと整頓する。
- (3) 洗面所付近がぬれているときは、ふく。

8 保 健

- (1) 体調には常に注意し、異常があれば、すぐに先生に連絡する。
- (2) 決められた時間や場所以外では、間食しない。
- (3) 気温の急変があるので、寝冷えをしないように気をつける。
- (4) 睡眠を十分とる。

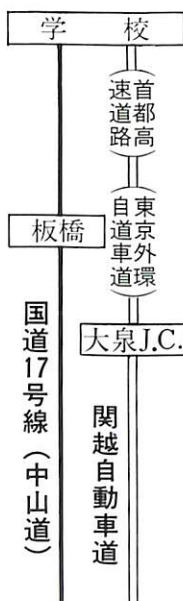
9 案内図(部屋割)



(-----は部屋の境がはずせる)

※101～105：職員専用
(従業員室)

II 榛名への道



首都圏と新潟県長岡市を結ぶ関越自動車道の新線開通（昭和60年・1985年）に伴い、榛名への道は一層近くなった。

バスは墨田区から首都高速道路、東京外環自動車道を経て大泉JCTに至る。ここから関越自動車道にのるとほどなく埼玉県に行きつく。

新座料金所を過ぎて間もなく、頭上に野火止用水の水路橋が見える。野火止用水は、幕府老中・川越藩主松平信綱が作らせたもので、江戸時代前

期の新田開発の代表的なかんがい用水である。玉川上水から分水され、約20kmを経て新河岸川に注いでいる。



野火止用水水路橋

やがて、J R 武蔵野線の陸橋が見えてくる。昭和49（1974）年開通した武蔵野線は、府中本町駅ふちゅうほんまちと西船橋駅を結び、貨物輸送を主目的として建設された。しかし、首都圏の発展・拡大とともに旅客輸送に重点が移され、現在では「第二の山手線」の役割を果たしつつある。

埼玉県は、巨大都市東京に隣接し、東京の住宅地として、また近郊農業地帯や休養地としての役割を持ち、東京と切り離して考えることができない。京浜工業地帯はさらに拡大を続け、国道17号線とJ R 線に沿って大宮から上尾あげおを経て、内陸部の熊谷くまがや・深谷ふかや付近への工場の進出も著しい。今では京埼工業地域けいさいと呼ばれるようになった。

上越新幹線と関越自動車道の開通は、さらに埼玉県の変貌を顕著なものにしている。東京への通勤・輸送時間が大幅に短縮化されたことにより、急速なベッドタウン化が進み、「埼玉都民」という言葉さえ生まれている。そして、積極的な工場団地の造成は、内陸工業地域の拡大を生み、伝統的な景観を一変させようとしている。

所沢I.C.

武蔵野の面影を残す車窓風景をながめているうちに、バスは所沢I.C.にさしかかる。県の中南端に位置する所沢市は、西武線で結ばれる東京のベッドタウン化が急速に進み、平地林を切り開いて大規模な住宅団地が次々に建設され、人口が急増している。市の南東部の狭山丘陵には県立自然公園や狭山湖（山口貯水池）があり、都民の上水道用貯水湖として重要な役割を果たしている。その周辺には、遊園地、野球場、人工スキー場などがある。

三芳P.A.

所沢市を抜けると狭山市に入る。武蔵野台地の北西部を占める平坦な地域で、日当たりと水はけの良い丘陵地では茶の栽培が盛んで、「狭山茶」の名で全国に知られている。ぶどう栽培も多い。



狭山の茶畑

また、航空自衛隊入間基地を控えているため、しばしば頭上に大型ジェット機を見ることがある。

狭山市も、1960年代以降の日本経済の高度成長に伴って急速にベッドタウン化が進んだ。住宅・都市整備公団の狭山台団地をはじめ、大規模な住宅団地が建設されて人口は急増している。工業地化も進展し、川越狭山・狭山の両工業団地が造成され、自動車や食品の大工場が進出している。関越自動車道の全線開通に伴い、沿道各市の産業発展はますます期待されている。

川越I.C.

川越I.C.の東側に展開する市街が、「小江戸」と称された川越市である。^{おおたどうかん}太田道灌らによって築かれた古い歴史を持つ川越城を中心に発達した城下町である。徳川家康の江戸入府以来、江戸の北門の守りとして重要視された。江戸と結ばれる川越

上尾



蔵造の町・川越

街道や、関東天台宗大本山の喜多院をはじめ旧跡が多い。近年は「^{くらづくり}蔵造の町」として観光客を集めている。現在の町家は明治26(1893)年の

桶川

鶴ヶ島IC.

北本

大火の後再興されたものであるが、蔵造^{くらづくり}の商家の
豪奢^{ごうしゃ}な名残りは、当時の川越の繁栄ぶりを物語っ
ている。

バスがさらに北へ進むと、家々の北側と西側が
木々に囲まれているのが見られる。これを「屋敷^{やしき}
林^{りん}」と呼んでいる。冷たい冬の北西風(からっ風)
を防ぐために、また山地に遠い平野の村として薪^{まき}
などの燃料を得るために、このように特色ある村
落ができあがった。

この付近の農地は、水田よりも畑地が多い。関
東ローム層におおわれた台地は水が乏しいので、
畑地になっている。陸稻^{りくとう}・麦類・さつまいも・野
菜・果実類など多品目にわたっているが、ビニー



桑畑と後方のビニールハウス

ルハウスによる栽培
が盛んになってきた。
安い外国産の麦にお
され、野菜や果樹栽
培に転向する農家も
多い。水田は川に沿
った所に見られる。

畑や屋敷林の間にナシ畑がみられる。「埼玉ナシ」と呼ばれ、近年栽培がとみに盛んになっており、全国的にも生産高を誇っている。また、キリの木が畑のあちこちに植えられている。これも埼玉県の特産物の一つで、たんす・げた・はご板などの材料となる。

高坂S Aあたりになると、西側に長く連っていた武蔵野台地が切れはじめ、その奥に遠く秩父連山が望めるようになる。

バスはやがて東松山I Cを通過する。この東松山市の郊外に、慶長年間（1596～1615）に廃城となった松山城址がある。城址北方の小丘陵の西側には219個の横穴が掘られている。これは上古の



吉見の百穴

墓地で、古墳時代末期のものといわれ、「吉見の百穴」として知られている。中には天然記念物のヒカリゴケのついた横穴もある。

東松山I.C.

行田

嵐山P.A.

熊谷

さらに東松山市の北東の^{きようだ}行田市には「さきたま古墳群」がある。その稲荷山古墳から出土した鉄剣に 115 文字の漢字がきざまれていたのが確認され、古代史の解明に大きな前進をもたらした。この付近から群馬県にかけては、近畿地方や北九州地方について古墳の多いところである。^{さきたま}埼玉古墳群をはじめ、高崎市の^{かんのん}観音塚・^{まえふたご}前二子古墳、前橋市の^{ほうとう}宝塔山・^{じゃけつ}蛇穴山古墳などがよく知られている。

なお、埼玉という地名は古く「万葉集」や「^{しう}続日本紀」などにみられ、「さきたま」と読ませていた。「さきたま」は「^{さきたま}幸魂」からきたという説が有力であるが、多摩郡の先にある地、という説もある。

東松山市と熊谷市の中間の丘陵地帯には、「国営武蔵丘陵森林公園」がある。明治百年を記念してつくられた森林公園である。面積は304ha、新宿御苑の約5倍の広さといわれている。緑に親しむことを主体に造成されたもので、南北に広がる細長い丘陵には、多種の樹木を自然に植林してある。園内には大小40の池沼が点在し、それらをめぐる園路は総延長約50kmあるといわれている。



花園I.C.

深谷

寄居P.A.

本庄

本庄児玉I.C.

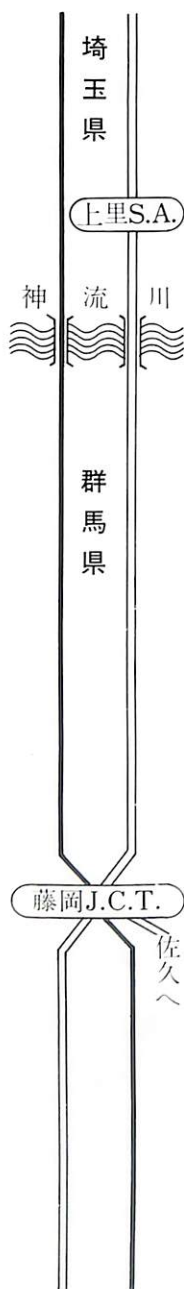
上越新幹線

花園 I C の手前で荒川を渡る。この上流に長瀬^{ながとろ}の景勝地がある。秩父連山に源を発し、関東第二の大河もこの花園付近の流れはしごくおだやかである。河原では採石が行われている。我が隅田川の源流でもある。

このあたりから、畑地には桑畑^{くわ}が目立つようになる。埼玉県北部は群馬県から続く養蚕^{ようさん}地帯である。屋敷林に囲まれた農家には、切妻屋根^{きりつま}の 2 階建てが多く、2 階の部分が蚕室^{さんしつ}になっている。

上里 S A をすぎてすぐに神流川^{かんる}を渡ると、群馬県に入る。北方正面には榛名山、東側に広大なすそ野を持つ赤城山^{あかぎ}、西側に特異な岩肌をみせる妙義山^{みょうぎ}、これら「上毛三山^{じょうもう}」は群馬の人々の心に深くきざまれたふるさとの風景である。

群馬県は、古くは上毛野国^{かみつゆめのくに}あるいは上州とよばれた。上州名物は「かかあ天下にから^{から}っ風」と言われるように荒々しく貧相な印象でとらえられたがしかし、古代から中世にかけて東国文化の中心地的存在であった。「からっ風」は関東地方全体に吹くが、特に、群馬県に強いのは地形に原因がある



といわれる。群馬県は三方が山地で、南東部にわずかに平野が開けている。県の四分之三が山地であるため、資源に乏しく、農民は昔から炭焼き・養蚕などの副業にたよることが多かった。第2次世界大戦後、化学繊維^{せんい}が発達したので、養蚕はおとろえ、まゆの生産量は戦前の最盛時の四分の一になっているが、なおも群馬県は全国のまゆ生産量の三分の一近くを占め、全国一位である。

現在では、上越新幹線や関越自動車道の開通、国道17号線の整備などによって、用地や用水の不足に悩む京浜方面から工場が次々と移転してきて、新しい工業地域をつくりつつある。また、北と西の山地は湯治・登山・スキーなど都会人の保養・レクリエーションなどの適地として大きく発展している。

藤岡 J C T は、上信越自動車道との分岐点である。上越新幹線とも立体交差している。

西側に広がる市街が高崎市である。城下町であり、市場町・宿場町の面影も残っている高崎市は県下有数の商工業都市として発展している。市内

高崎I.C.

高崎

前橋I.C.

前橋

には大きな工場が立ち並んでいる。製粉業は伝統的なものだが、今では輸入小麦が多いので臨海地区の工場におされがちである。これにかわ

って電気・ビールなどの新しい工場が発達してきている。

高崎市からは新潟方面に向かう^{みくに}三国街道（国道17号線はここから国道18号線と分かれる）が発しており、宿場町としても発展した。現在は、JR信越・上越・上越新幹線・長野新幹線などの分岐点として交通の要地となっている。



製粉工場

東側に群馬県の県庁所在地の前橋市が広がる。明治維新後、市内に機械化された製糸工場ができ、外国人技術者を招いて製糸業を行った。これは同じ県内の^{とみおか}富岡官営製糸工場よりも早いものであった。こうして前橋は^{おかや}岡谷市（長野県）・^{とよはし}豊橋市（愛知県）とともに、わが国有数の製糸業地として発展

した。今なおこの地方の製糸業はさかんである。

最近は、自動車・電気機械・農機具などの新しい工場もふえ、高崎市につぐ県下第二位の工業都市になっている。

駒寄P.A.

赤城山の広大なすそ野をながめながらバスは北上して行く。赤城山へは有料道路も整備されており、桜並木や白樺林の中を抜ける快適なドライブコースになっている。赤城山の南麓には、日本の旧石器時代の存在を初めて明らかにした「^{いわじやく}岩宿遺跡」がある。

バスの前方を注意深く観察すると、関越自動車道と平行した利根川に^{か かん}河岸段丘が見られる。渋川市の北方の沼田市周辺は、利根川がつくった典型的な河岸段丘となっている。

渋川伊香保I.C.

関越自動車道の基点練馬 I C から103.4km、バスは渋川伊香保 I C から国道17号線に降りる。

渋川市は長野原・草津方面への分岐点の宿場として発達した町である。また、^{あがつま}吾妻川の谷間の地



渋川から望む榛名山

域と平野部の境にできた谷口集落でもある。市内には、吾妻川の流域の木材・養蚕を基にした製材・製糸工場が多いが、水と電力に恵まれて

鉄鋼・電気化学などの工場もできた。



渋川駅前を左折すると道は急な勾配となる。ブロック工場・製材場が見える。こけしづくりの看板も目につく。群馬県のこけしの生産高は全国有数である。最近は、しいたけ・しめじ・りんごなどの観光農園も増加している。

ゴルフ場・伊香保グリーン牧場を左右に見て、石段の温泉地として有名な伊香保温泉街を抜けるとさらに急勾配、急カーブが続く。冬季国体会場ともなった伊香保スケートリンクのゲートをすぎれば、あとわずかで学園に到着する。

III 榛名の歴史と産業

1. 榛名高原学園の位置

宿舎である榛名高原学園は、東京から北西へ約120km離れ、群馬県のほぼ中央、榛名山中にある。榛名山は、名峰榛名富士（標高1,391m）をはじめ1,000m以上の山々がそびえ、中央に火口原湖（榛名湖）がある。宿舎は榛名富士の東方約2km伊香保から榛名山の外輪山を登り切った、ヤセオネ峠にある。榛名山は、上毛三山（赤城山・妙義山とともに）の火山群の一つである。北側には、2,000m級の山々の連なる三国山脈、西側には、浅間火山群がそびえ、また北東には赤城山があって、宿舎から手にとるように一望できる。良く晴れた日の榛名富士山頂から南側遠く富士山が見える。ロープウェイの山ろく駅付近には、夏の間キャンプ場が開設され、夏を楽しむ人たちがでにぎわう。このあたりから北東側のヤセオネ峠、東のスルス峠へかけて「榛名高原」と呼ばれる草原が広がっている。このつつじヶ原を東から西へ一直線に横切る伊香保榛名道路は、ヤセオネ峠から、榛名湖畔へのびている。



3. 群馬県の土地のようすを調べてみよう。

右の等高線を色わけし
土地の高低や地形の特色
を理解しよう。

- ・山地や丘の多い所
- ・平地がどこに分布
しているか。

4. 群馬県の歴史と産業

群馬県は一般に上州と
呼ばれ、昔は、^{こうすけの}上野国と

呼ばれた。海をもたない内陸県で、水利に乏しいため畑作地帯となっている。水田が少なく、古くから蚕糸業が発達し、かつては養蚕王国として知られた。昭和30年ごろから工業中心の産業構成へ変わり、同38年には、工業生産額が農業のそれをぬき、県の主産業となった。農業は、米・野菜・畜産が中心で、養蚕は減少したが、収まゆ量では全国1位であり、他にコンニャクイモ・生しいたけ・ウメ・コイの生産も盛んである。



土地の高低

上野国の名の由来 4世紀ごろは、今の群馬・栃木の両県をあわせた地域を毛ノ国と呼んでいた。毛とは、穀物が、豊かに実れるところの意である。5世紀ごろ、渡良瀬川を境に下毛野国、上毛野国と呼ぶようになり、律令制とともに、国名を2字、つまり^{かみづの}上野と書き、ついで、「こうすけ」となった。

5. 榛名町〔2000年、人口約22,450人、面積93.59km²〕

榛名町は、つるの形をした群馬県の中西部に位置し、町内各所には縄文、弥生時代の住居跡をはじめ6世紀以後の古墳群もある。鎌倉時代には里見城主里見氏が地頭支配し、その後長野氏、武田、北条、織田氏等が、戦国時代に支配した。現在、中心集落は町の中南部、^{からす}烏川の北岸の下室田で、かつては宿場町としてにぎわった。(他に里見の神山宿がある。)

宿場町(信州街道)

人通りの多い道の、大きな川やとうげの手前などに、とんや・はたご・茶店などがたちならび、旅の人たちが休んだり、とまったりしました。



宿場のようす

榛名町は、昔15の小さい村に分かれていた。今から90年ほど前に三つの村に併合され、^{むろな}室田村、^{さとみ}里見村、^{くろま}久留馬村となった。さらに昭和30年にこの三つの村が、合併し、今日の榛名町となった。



合併前の行政区区域図

(1) 人々のくらし

人々がどのような仕事に従事しているかを調べてみよう。かつては、第一次産業である農林業も多く畑作を中心に果樹栽培、養蚕の割合も大きかったが、表で見て分かれるとおり、現在、第三次産業であるサービス業や卸・小売業が多くなっているのは、榛名湖と温泉をひかえた観光地としての特色を示しているといえる。また第二次産業である製造業では、電気器具の工場を中心として、機械部品をつくる工場等がある。

産業別就業人口 (単位:人・%)

産 業 別	総数(人)	構成(%)
第一次産業	1,714	15.2
第二次産業	4,311	38.3
第三次産業 (サービス業)	5,227 (2,247)	46.5 (20.0)

分類不能16人を除外
資料:1995年(平成7年)

(2) 農業の特色

榛名の気候は冬期間、雨量が少なく季節風が強い。また、榛名山及び丘陵地に囲まれているために気候の変化が大きい。耕地は、山ろくから標高400mまでの中腹が最もよく利用されている。火山の山ろくであり、水はけがよく、地下水の水位が低い水田より畑が多い。

榛名町の耕地面積
(単位 ha)

田	528
畑	571
樹園	931

(1999年)

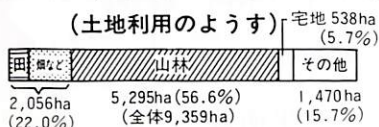
降 水 量

区 分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年合計
降水量 mm	20	40	61	138	92	121	220	312	344	52	14	1	1,415

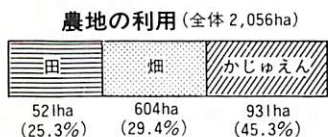
(資料:前橋地方気象台)

(3) 榛名町の土地利用（※24ページの地図参照）

榛名町の地図をながめて、土地利用の様子を調べてみよう。
 榛名町の土地の高さは 144m～1,448mに渡り、一部の平坦地を除くと丘陵地が広く分布している。その中で、山林は、町全面積の約57%を占め、山林や畑が大部分をしめることがわかる。（右図）

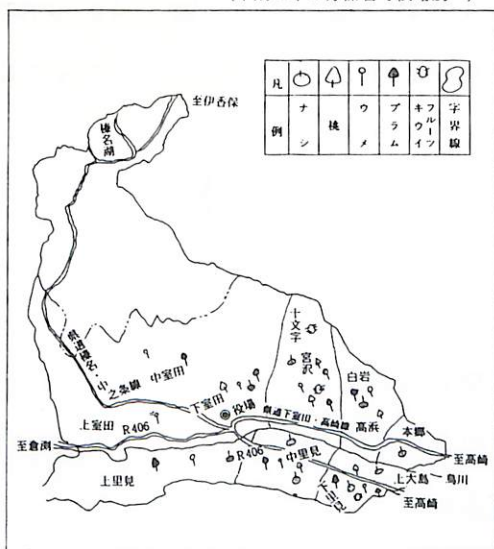


また、農地については、果樹園が約45%を占め主になっている。年々農地が減少し、



(平成12年2月榛名町役場調べ)

宅地化や昭和45年より実施された米の生産調整により、田畑から樹園地が広がっている。次に果樹産地の分布を調べてみると（右図）、ナシでは、久留馬、里見に集中し、甘味ある梨（新水・幸水・豊水）が生産され、県下第一



果樹産地の分布図

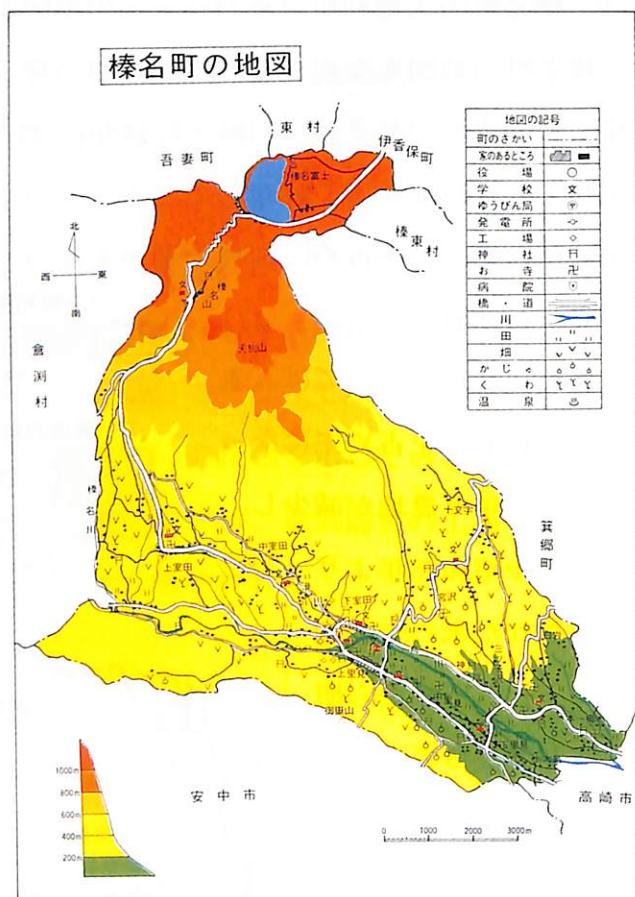
の生産高を誇っている。その他梅は榛名町全域で栽培され、東日本第一位の生産量を上げ、桃は、室田・久留馬地区に分布

し、プラム・かき・くり・キウイフルーツ・リンゴ・ブドウ等の果樹も生産されている。果樹栽培面積は、総耕地面積2,056haの45.3% (931ha)をしめる。このことから果樹農業が、榛名町における主

産業であることが分かる。一方、低地の烏川^{からす}の流域は水田に利用され、交通の便もよいことから、人口が集中し、多くの集落ができています。

6. 温泉でにぎわう伊香保町

県のほぼ中央部に位置する温泉の町。榛名山系火山活動の最後の噴火として二ツ岳が噴火した西暦600年前後に温泉が



ゆうしつ

湧出し、今より1100余年前に発見されたと伝えられている。榛名山の北東腹、標高 750m付近にあり、県を代表する温泉観光地の一つとして知られている。旅館は急坂にそって建てられ、階段式の道路や、ヒナ段式の家並みが山あいの傾斜地にひろがり、独特の温泉街を形づくっている。町の人口の約 4,270 人のうち、就業人口の約62%がサービス業、26%が卸・小売業で、観光と保養の町であることがわかる。

現在、伊香保や榛名町を訪れる観光客は年間 258万人を越え、にぎわっている。(人口3,978人、面積22.32km²、2000年2月現在)

産業別就業人口 (単位: 人・%)

産業別	総数(人)	構成(%)
第一次産業	32	1.1
第二次産業	340	11.2
第三次産業 (サービス業)	2,661 (1,867)	87.7 (61.6)

資料: 1995年(平成7年)

イカホの語源 イカホの語源は、アイヌ語のイカポップ(あたたかい湯)と伝えられ、又、万葉集(760年ごろ)をはじめ古今集などの古文の中にもその名がうかがえる。

伊香保ねに雷な鳴りそねわがへには ゆえはなけども兎らによりてぞ(万葉集14 東歌) ※「ね」は峰のこと。



明治初期の石段街



榛 名 神 社

7. 榛名神社

下室田から榛名湖へ登る県道沿い東側の、榛名山頂に近い南腹にある。榛名神社が祭られたのは586年といわれる。形の変った奇岩や巨岩のあることから神を感じ、特に御姿岩とか地藏石と呼ばれる岩が、地藏菩薩の姿に似ていたので、これをご神

体にして信仰が始まったと思われる。また、榛名山は活火山で、火を吹く山であり、榛名湖は豊かな水をたたえ、人人に、豊かな実りと恵みを保証してくれる。これらの条件から、榛名神社には、土の神（農業神）と火の神（火を鎮める神）が祭られ、戦国時代には、武将や農民に厚く信仰されたのである。平安時代の末に仏教の信仰が加わって神仏混淆の形成となり、江戸時代末まで続いた。明治期に神仏分離令が出されると、仏教色を廃し、名も榛名神社と改めた。人々が「きよめ、はらい」て神にささげ舞った神楽も今に再現され、県内最古の神楽「神楽舞」として、昭和27年国の無形文化財となった。また鳥居前にある町並みは「社家町」と呼ばれ参拝客の宿坊と神社に奉仕する人（御師）の家がある。

IV 文学に描かれた榛名



美しい自然はわたしたちの故郷である。それは、わたしたちの生活を励ましあるいは慰め、心に光とうるおいを与えるものである。

今、榛名の風土をたどり、榛名におけるさまざまな心を探って、先人の生き方に触れていこう。——著名な作家や詩人、あるいは榛名近在の無名の人々、そして多数の小・中学生は、みな一様に、榛名を愛して、歌いまた描写し続けてきたのである。

1. 霧の榛名

はろばろに匂える秋の草原を

浪のはうごと霧せまり来も

(長塚 ^{なかし} 節)

早朝県道に立って眺めると、きれいに二分された草原のか
なたに、霧がすでに外輪山をかすめている。湖畔に立てば、



霧で頂上が隠れた榛名富士(夏)

はうように、わくように
霧が湖面に流れている。

そして、霧はまもなく外
輪山からも、湖面からも
消えてゆくのである。

榛名の美しさは日本画
のぼかしである。しかも
四季を通じてそうである。

ひる過ぎて霧のみだれの

晴れゆけば榛名の谷に雪のこる見ゆ

(斎藤 茂吉)

氷小屋のなかに氷をひく音の

鈍くひびきつ霧ふかしひる

(前田 夕暮)

霧は、榛名山上への道を閉ざすことさえあるという。

榛名路の往来止めや霧風まき (村上 鬼城)

これほどの霧は、いったいどこからやってくるのだろう。

長塚節は、「湖畔を訪いて、いわゆる榛原の平を過ぐるに、たちまち濃霧の来たり襲うに逢いければ——」と述べ、「濃霧の歌」と題する一連の短歌でこの霧を歌っている。

ひさかたの天つ狭霧を吐き落とす

相馬ヶ岳は恐ろしく見ゆ
秋草のにおえる野辺を水底と

天つ狭霧はおり沈めたり

だが、霧は、音もない無気味な恐ろしい力とは別に、美しい夢幻の世界も作り出すのである。移動教室の中で、墨田の中学生はこう歌っている。

夜 霧

石山 勝一（両国中）

霧はぼくらをつつんだ
霧は学園をつつんだ
ぼくはこんな霧を見たことがない
向こうにいる友だちが見えないのだ
声だけが聞こえた
霧の中にいると ふんわりと
空を飛んでいるような
宇宙に飛び出したような
海を泳いでいるような
いろんなことが頭に浮かんでくる
気持ちのいい夜だ
霧がぼくらをやさしくつつむ
キャンプファイアーの夜



霧に煙るつつじヶ原（夏）



榛名神社

2. 榛名神社

神山を深み静けみ仰ぎ見れば

白雲うごく大杉の上に

(村上 成之)

伊香保の町と榛名の頂上をはさんで相対する南西の山腹にある古い神社である。雷鳴がとどろき雲を吐く山、朝もやや夕がすみのただよう森

林、雲つくばかりに高々とそびえ立つ巨人のような岩、霧の中からあらわれる谷川のせせらぎ——。この神秘的な世界の奥に、古代の人は、神の存在を信じたのである。今も残る雨乞い行事がそれで、榛名湖の水神と榛名神社の神体へ、ひたむきな祈りがこめられたのである。——山麓群馬町菅谷では以前はかんばつになると、当番の者が榛名神社に参り、神職によつて雨乞いの祈祷をしてもらった後、万年井戸の水を竹筒にもらってくる。これは種水といわれているが、それを村落の鎮守神である滝の宮神社に供え、同社の神職によつて干上がっている堤の中に入れ、泥をこねまわしたあげく、神職や通行人にそれを投げつけて泥だらけにする。その後、神酒を振舞われる。この雨乞いは大体靈験があつて、まもなく降雨があるといわれている。

(雨乞い行事)

榛名神社

金子 比左恵（両国中）

鳥居をはいって石段をのぼっていく

神社というよりも林だ

林が私を見つめている

さわやかさの中に

妙な 重苦しさ

ひんやりとした空気

土と草木のにおいが

私にまとわりつく

口もきかずに

黙々とのぼっていく

ぽつぽつと 雨が降ってくる

冷たい雨

林は ますます ひんやりとした目で私を見つめる



榛名神社参道の石段

かけまくもかしこき霧やお広前 （村上 鬼城）

莊厳そのもののこの神社が、今日ふうのにぎわいを示したのは江戸時代である。俳人小林一茶、画家安藤広重・谷文晁、作家十返舎一九らもここを訪れている。「木曾街道六十九次」を描写した安藤広重も、境内の谷や橋を描いている。

夕立ちにとんじゃくもなし舞の袖 （小林 一茶）

3. 湯の町「伊香保」

霧の榛名を屏風にかえて おらが伊香保は夢の町

(伊香保音頭)

伊香保は坂の町であり、階段状の湯の町である。旅館の一軒一軒が、卒業記念撮影の生徒のように積み重なっている。そのため、前方に展開する連峰諸山の朝夕のたたずまいを、旅館の一つ一つの窓から望むことができるのである。

山の湯の低き湯の宿高き宿

戸をくる音すほととぎす鳴く

(佐々木 信綱)



伊香保の街 (与謝野 晶子)

坂と石段の多い伊香保

榛名山の一角に、

段また段を成して、

ローマ時代の

野外劇場のごとく、

斜めに刻みつけられた

栈敷形の伊香保の街。

屋根の上に屋根、

部屋の上に部屋、

すべてが温泉宿である。

そして、^{ほう}榛の若葉の光が

柔らかい緑で

街全体を濡らしている。

この伊香保を特に名高くしたのは、明治31年（1898）に発表された「不如帰^{ほととぎす}」であった。作者の徳富蘆花は、「自然と人生」「思い出の記」などの作品で有名である。

徳富蘆花（左から三人目）



春の日脚の西に傾きて、遠く日光・足尾・越後境の山々、近くは小野子^{おのこ}・子持・赤城の峰々入り日を浴びて、

はなやかに夕ばえすれば、つい下の榎はなれてアアと飛びゆく鳥^{からす}の声までも金色に聞こゆる時、雲二片ふらふらと赤城のうしろより浮かびいでたり。

「今日は榛名から相馬岳に上って屏風岩の下まで来ると、迎えの者に会ったんだ。」

「そんなにお歩きあそばしたの？」

「しかし、相馬岳の眺望はよかったよ。浪^{なみ}さんに見せたいくらいだ。——」
(不如帰)

この小説を伊香保で書いた徳富蘆花は、その後病気になり、この地で療養生活が続けたが、昭和2年他界した。かれが、若い日に「不如帰」を書き、また老いて臨終を迎えた部屋は現在「蘆花記念会館」として、伊香保の町の人々の手で大切に保存されている。

4. 榛名湖をめぐって

いただきの裏行く低き冬の雲

榛名の湖は山の上の湖

(北原 白秋)

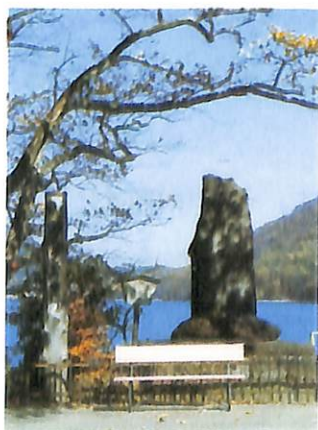
榛名湖は山上の湖である。しかし、奥日光の湯の湖のような薄暗い陰気なところがない。明るく陽気で、さらっとしたさわやかさが榛名湖の特色である。琵琶湖ほどに広々とした風光明媚さはないが、榛名富士は近江富士をしのばせ、小さいなりの愛らしさ・軽快さを漂わせている。

榛名湖のふちのあやめに床几かな (高浜 虚子)

馬だまり馬のにおいの霧の湖 (石川 桂郎)

夕焼けに湖底が炎えて榛名富士 (大竹 孤悠)

湖畔のミズナラの木立の中に、竹久夢二の歌碑がある。



竹久夢二の歌碑(秋)

さだめなく鳥やゆくらん青山の

青のさびしさかぎりなければ

竹久夢二は大正時代の叙情画家で、
歌曲「宵待草」の詩なども書いた特
異な存在の人であった。

せみしぐれ逆富士ゆるる榛名湖の

夢二の石碑見いる人なし

伊井真奈美(群馬・北中)

榛名湖は多くの人に
愛されてきた。湖畔の
山が歌われ、湖面の四
季が数多く描かれてき
た。

「太古の深さをみせて
たたえた榛名湖。冬は
湖上のセガンチニ（イタリアの点描派画家）の画でもみてい
るような氷切り。夏になるとそれを運びだす幾列ものだ馬、
その鈴の音……。」と榛名湖を紹介した山村暮鳥もその一人で
ある。かれはこの山上の湖水に終生愛着をもち、「山上にて」
「沼」「ふるさと」などの詩を残している。

山上にて

（山村 暮鳥）

自分は山上の湖がすきだ
自分はそのみなぞこの青空がすきだ
その青空には白銀の月がでている
ひるひなか
その月をめぐって
魚が二三尾およいでいる
ちょうど自分たちのようだ
おお人間のさびしきは深い



すずりいわ
硯岩の上より見た早朝の榛名湖（初夏）



すずりいわ

志賀直哉と並んで「小説の神様」といわれ、川端康成と共に、新しい感覚を大切にした横光利一も、榛名湖を愛し描写したひとりである。

湖は、人家を数軒湖畔に散在させた周囲一里の円形である。湖の上からは遠いボートの上で歌っている少女の声が、間近に聞こえてくる。湖面を飛びまわる蝶の方向を変えて流れる煙。——今や日没の光線に金色に輝いた湖面が静まりかえって傾き始めた。キャンプの草の上でたき火をしている若者の歌う青春の歌が、透明な空気を揺り動かして流れてくる。—— 榛名 —— （横光 利一）

冬の湖は全面結氷して、ひとつの大天然スケート場と変わる。それは、春夏秋とは異なったロマンティックな情景である。そして、湖上の釣りもきらりと輝くのである。

氷を割れば水はたはたと湖鳴りす （角川 源義）



冬のわかさぎ釣り

氷より穴釣りの魚

おどり出て

光を放つ山の湖

（与謝野 晶子）



霧に包まれた静かな湖畔(夏)

榛名湖は、古くは「伊香保沼」とよばれ、万葉集始め多くの歌集によまれている美しい火口原湖である。——その美しさをめぐって

次のような説話もある。

^{みのわ}箕輪城主の奥方「長野姫」がある年の春、榛名湖に楽しい舟遊びをして、夕暮れ近く舟を引き返し湖の中程までくると、舟が急に止った。その瞬間、にわかに天が曇って渦巻きが起こり、激しい叫び声と共に、姫は湖の^{ぬし}主にみいられて湖底深く引き込まれた。

奥方を失った腰元達は主人のもとに帰ることもできず、奥方を追って湖水に入り、今は「カニ」になって、湖底の落ち葉をかきわけながら、石の下まで奥方の姿を探し求めている。また水が濁ってはわからないから、今でも一枚の落ち葉も浮かばず、湖水はすみきっているのだという。

みずうみのかなたの原に^な啼きすます

^{か こう}郭公の声ゆうぐれ聞こゆ

(若山 牧水)

5. 榛名富士と山ろく

榛名山から雲が足出して
またも伊香保に雨降らす
さあさあ
前橋高崎までも
ごろりぴかりと雨ふらす
野口 雨情(上州小唄)

榛名富士山頂に立って目を上越国境の山々から東に移すと、赤城そしてその南のすそ野から関東平野がはるかに望まれる。そこに屈折して伸びる一本の白銀は利根川である。

榛名富士 (萩原 朔太郎)

その絶頂を光らしめ
とがれる松を光らしめ
峰に粉雪けぶる日も
松に花鳥をつけしめよ
ふるさとの山遠々に
くろずむごとく凍^こる日に
天景をさえぬきんでて
利根川の上に光らしめ
祈るがごとく光らしめ



高崎から見た榛名山 (秋)

萩原朔太郎は、利根川ごしに榛名山が望める前橋市の出身で、大正から昭和の初めに活躍した詩人である。

信濃路とおもうかなたに日は入りて

雪降るまえの山のしずかさ (斎藤 茂吉)

故郷の山の写真を引きのばし

雲ある空に恋いつつぞ居る (土屋 文明)

土屋文明は榛名山の東のすそ野にある群馬町の出身である。
また、「榛名山のすそのは、ぼくの家の方の前まできている。」
と語った俳人村上鬼城も、高崎に住んでこの山を数多く作品
によんでいる。

種蒔や万古ゆるがず榛名山 (村上 鬼城)

次の五首の短歌も、榛名山ろくに住んだ人々、農民や主婦
たちの歌である。

肩に重き堆肥まき終え見上げたる

榛名連峰の線のたしかさ (岡野 きくの)

秋去れば炭焼すらし幾すじか

榛名山すそに煙立つ見ゆ (樋口 長太郎)

榛名嶺に雪降るらんかさいさいと

時雨てことに寒き夕べは (外所 芳得)

榛名嶺に雪かも降れる病む父の

夜更けに覚めて胸痛むという (北原 放二)

吾子の手をわが袖ぬちに温めつつ

雪の榛名に向かいてあゆめり (竹内 茂登子)

山ろく住民にとって、地元の山「榛名山」は自分達の生活から切り離すことのできない背景なのである。ここで、渋川・北群馬の小・中学生の文集「^{はんのこ}榛野子」をのぞいてみよう。

風 高橋範行 （古巻小3年）

風はつめたい
学校の休み時間にドッジボールをしていると
「ヒューヒュー ザーザー。」とほおにささる
すなもいっしょにとぶ
ボールをなげるとまがってしまう
目の中にすながはいると目がいたい
そしてなみだがでる
風は とてもつめたい

夕焼け 桜井 正
（伊香保中2年）

冬も真近い寒い日だった
部活動を終えての
一人での帰り道
疲れた体をひきずりながら
ふと見上げた西の空
空が燃えている
獅子のたてがみのように金色に輝き
榛名富士が黒々とくっきりと浮かび上がっていた
ぼくは夢をみているようだった
夕焼けの中に私自身がとけこんでいくように



外輪山コース するす岩付近 （初夏）

つづいて、移動教室における、墨田の中学生の感動をひろってみよう。

二つ岳 春の山道 トコトコと

立花中 新田 泰之

木々の間に ほんのりさくよ ふじの花

立花中 田村 聡恵

榛名富士 水面に写す 波清か

湖光り 夏近し

両国中 伊大知 志穂

梅雨時の 姿見せずに 山登り

両国中 吉永 久生

遠くまで 続く山々 霧がくれ

顔を見せてよ はずかしがらずに

墨田中 加賀山 麻美

榛名湖の はるかかなたに 啼きすまし

我をささえた 郭公の声

墨田中 田村 昭博

霧の中 真赤に燃える 火を囲み

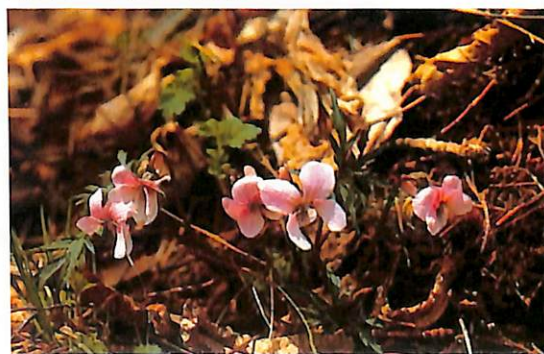
歌えや楽し 一夜の思い出

豎川中 江濱 寿子

土産買う 友達見れば ふと思う

時が過ぎるは 光のごとし

豎川中 坪 正晃



エイザンスミレ(5月林内に咲く)

右 キスゲ(ユウスゲ)

7月～9月 草原

左 ニッコウキスゲ

7月 草原(少ない)



課題

- ・ 榛名の詩や榛名を舞台とする小説を読んでみよう。
- ・ 私たちも詩や短歌を作ってみよう。

V 榛 名 の 自 然

1. 榛名高原

掃部ヶ岳^{かちんがだけ}（標高1,449m）を最高峰とした数多くの外輪山のけわしい山波に囲まれた榛名高原は、中央に美しく雄大な姿の榛名富士がそびえ、その西側には清らかな水をたたえている榛名湖、東側には沼の原が広々と続き、植物の宝庫である。

墨田区立榛名高原学園は標高1,170mの位置にあり、夏も涼しい。また周囲の山々の影響を受けて濃霧が発生するなど、自然の変化に富んでいる。

2. 榛名の地形

(1) 榛名山のおいたちと特徴

榛名山は赤城山、妙義山と並ぶ上毛三山の一つで、那須火山帯に属する複式火山である。未解明な点もあるが、次のような火山活動によってできたと考えられている。

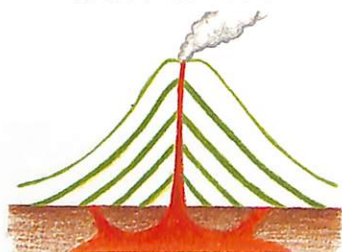
① 最初に大きな成層火山ができた。

今から数十万年前、古い地層の上に噴火を始め、溶岩と火山灰などが交互に噴出して堆積^{たいせき}をくりかえして、高さ2千mほどの富士山のような成層火山（円すい状の火山）ができた。

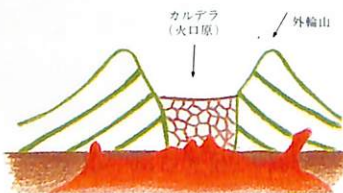
② 最初のカルデラができた。

長い休止の後、山頂部が吹き飛ぶ大きな爆発が起り、大きなカルデラ（たらい状のくぼ地）ができた。このカルデラは風雨により浸食されて現在はいくつかの峰に分かれ外輪山（カルデラのまわりに輪状にできたふち）として名残りをとどめている。

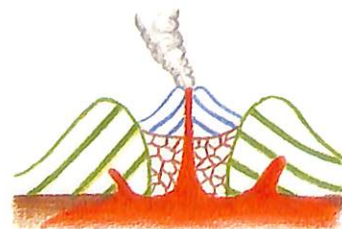
榛名山のおいたち



①大きな成層火山の形成



②初期カルデラの形成



③小型成層火山の形成

- ③ カルデラ内に小さな火山ができた。

カルデラ内に新しい噴火が起こり、小型の成層火山ができた。

- ④ 氷室カルデラができた。

小型成層火山が火砕流（爆発によって噴火した溶岩の破片や火山灰が山腹を流下するもの）を流した後、山頂部に「氷室カルデラ」ができた。

- ⑤ 氷室山ができた。

氷室カルデラの中に粘り気のやや強い溶岩が噴出してドーム状の溶岩円頂丘（氷室山）ができた。

- ⑥ 現在のカルデラができた。

約4万年前、氷室山に大爆発が起こり、多量の火砕流を流した結果、今残っているカルデラができた。このカルデラ内の一番低い所に水がたまってできた湖が榛名湖である。

- ⑦ 最初の寄生火山ができた。

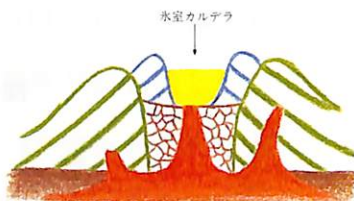
約1万数千年前、カルデラの東端に寄生火山（古い火山の上にできる火山）ができた。

- ⑧ 榛名富士ができた。

約1万年前、カルデラ内に中央火口丘（カルデラ内の溶岩円頂丘や小型の成層火山）である榛名富士や蛇ヶ岳ができた。

- ⑨ ニッ岳ができた。

約1400年前、カルデラの東端に再び噴火が起こり、榛名山系の最後の火山であるニッ岳（雄岳・雌岳）ができた。



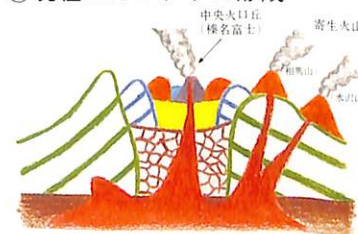
④ 氷室カルデラの形成



⑤ 氷室山の形成



⑥ 現在のカルデラができた

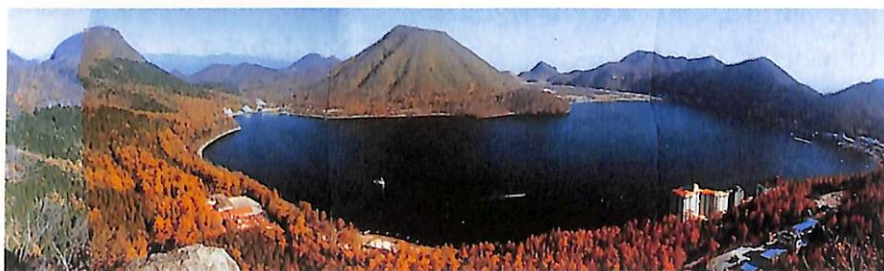
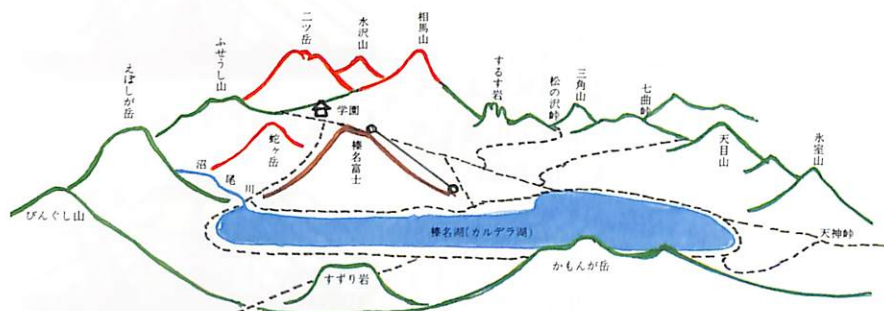


⑦⑧ 寄生火山の形成と榛名富士の誕生



⑨ ニッ岳の形成

複式火山のモデル



硯岩の頂上より榛名山全望

寄生火山

〔二ツ岳〕

高原学園の東側の、頂上にアンテナがとりつけてある山で、山頂が二つの峰に分かれている。

二ツ岳の北東山ろく一帯（伊香保・渋川方面）には広く軽石が分布しているが、これは二ツ岳が噴出したも

複式火山

火口付近が落ち込んでできたくぼ地をカルデラといい、カルデラに再び火山（中央火口丘）ができた火山を二重式火山、または複式火山という。

のである。この軽石はブロックの原料として採掘されている。また、二ツ岳の東側の軽石層から温泉がわき出しており、伊香保温泉は榛名火山の活動のなごりを留めたものである。また、昭和51年8月には榛名富士のふもとの榛名湖畔にも温泉が発掘され、37.8℃の湯が毎分200ℓも湧き出している。

〔相馬山〕 学園の南側に見える高い山で、北側(二ツ岳寄り)はけわしい絶壁になっている。これは二ツ岳が軽石を噴出した際の激しい爆発によって山腹が吹きとばされたためである。



二ツ岳頂上より見た相馬山

〔榛名湖〕

カルデラの一部に水がたま
ってできたカルデラ湖で、榛
名富士を細長く半月形にとり
かこんだ形をしている。湖に
流入する川はほとんどなく、
水源は、雨水と湖岸に点在す
る湧き水だけであるため、昔
は水もきれいで透明度が10m

榛 名 湖		
面 積		1.23km ²
長 さ		2.50km
最 大 幅		0.80km
周 囲		4.80km
最大深度		12.5m
湖面標高		1,084m

もあった。しかし、湖岸に旅館などが増えるにつれ水はにごり出し、現在では透明度は2～3m程度になっている。

湖水は、湖の北東の端から沼尾川となって流れ出し、外輪山の一部を破って伊香保方面から吾妻川（利根川の支流）に合流している。湖水の温度は、夏季には表面で24℃にもなるが、湖底では7℃ほどしかない。1月上旬から3月上旬までは凍結する。

課題 地図上で、榛名富士のまわりの山々を赤い線で結んでみよう。また、このような地形ができたわけをまとめてみよう。

(2) 榛名山の岩石

榛名山にはアンザン岩と軽石がよく見られる。これらの岩石には次のような特徴がある。

〔アンザン岩〕

岩石の全体が灰緑色または灰褐色で、その中に黒っぽい粒や白っぽい粒（結晶）がまざっている。

火山岩——地下のマグマ（地下にある高温でどろどろに溶けている物質）が地表に噴き出し、また地表近くまでのぼってきて急に冷え固った岩石をいう。溶岩やアンザン岩・軽石など。

〔軽 石〕

ガラス質の白っぽい火山岩で、すき間がひじょうに大きいので水に浮く。岩石のすき間は、噴火のとき溶岩中のガス体が外に逃げ出し、そのあとにできたものである。

課 題 山に登ったら岩石のかけらをひろって、色や結晶の様子を観察しよう。学園の標本と比較して岩石名を確かめよう。

(3) 榛名の気候

山の気候は、平地の東京に住むものにとって、予想のむずかしいことが多い。榛名山の気候も、標高差や緯度によるちがい、まわりの地形など数多くの要素が加わり、一層複雑なものになっている。

〔気 温〕

気温は 100 m 高くなるごとに約 0.6°C 低くなるといわれる。学園付近は海拔 1,170 m ぐらいあるから、東京に比べて夏は約 5°C 、冬になると約 10°C 、年間平均して約 6°C 低い。

課 題 次の表は、東京と榛名の月別気温を示したものである。この表から東京と榛名の月別の気温変化をグラフに書いて比べてみよう。

東京の月別気温（1961年～1990年平均）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	9.5	9.7	12.7	18.3	22.8	25.2	28.8	30.9	26.7	21.2	16.6	12.1
最 低	1.2	1.7	4.4	10.0	14.8	18.6	22.3	24.0	20.2	14.2	8.9	3.9
平 均	5.2	5.6	8.5	14.1	18.6	21.7	25.2	27.1	23.2	17.6	12.6	7.9

（理科年表より）

榛名の月別気温（1980年～1989年平均）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	0.7	0.4	4.4	11.6	17.3	19.5	22.3	24.1	19.2	13.5	8.4	3.0
最 低	-9.3	-9.5	-5.8	0.3	5.9	10.7	14.6	15.9	11.8	4.4	-1.2	-6.1
平 均	-4.2	-3.8	0.0	7.6	13.8	16.2	18.9	20.9	16.2	9.8	4.5	-1.7

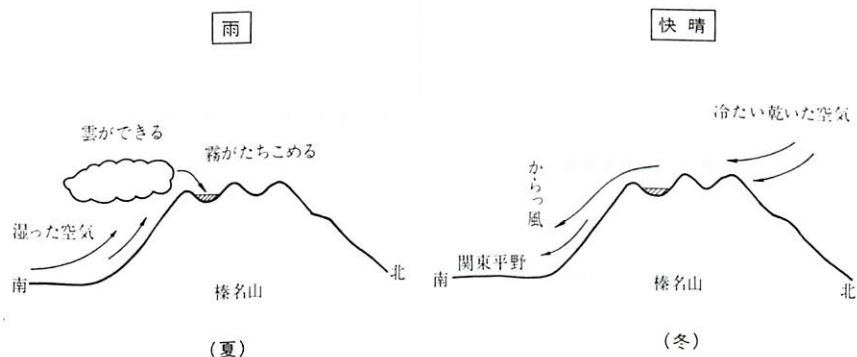
（森林公園管理事務所調）

〔天 候〕

太平洋岸にかかる前線のため東京地方が雨天であっても、前橋・渋川・榛名は雨でないことが多い。また、前橋・高崎から望む榛名山に、低く乱層雲がかかり山頂が見えないときは、榛名山は有名な霧でおおわれている。榛名山の霧は、次の図のように山の南斜面を湿った風が吹き上げる時に生じ、するす・松之沢・七曲の峠を越えて、低い湖面にたちこめるのである。

冬は、遠くシベリアからのつめたい季節風が、谷川・三国

の両連山に雪を全部落とすため、榛名山ではほとんど積雪がない。厳しい冷えこみのため、榛名湖は一面に凍結してスケートやわかさぎ釣りでにぎわう。



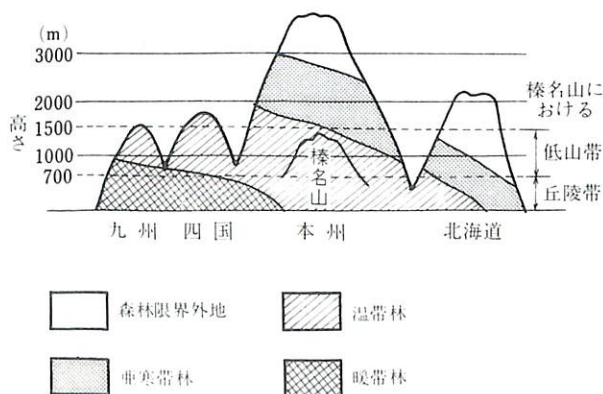
3. 榛名山の生物

(1) 植物

榛名山には、シダ植物以上の高等植物が約1,000種ある。

その分布は高度別には、丘陵帯に属する広葉樹、低山帯に属する落葉広葉樹や針葉樹などが見られる。

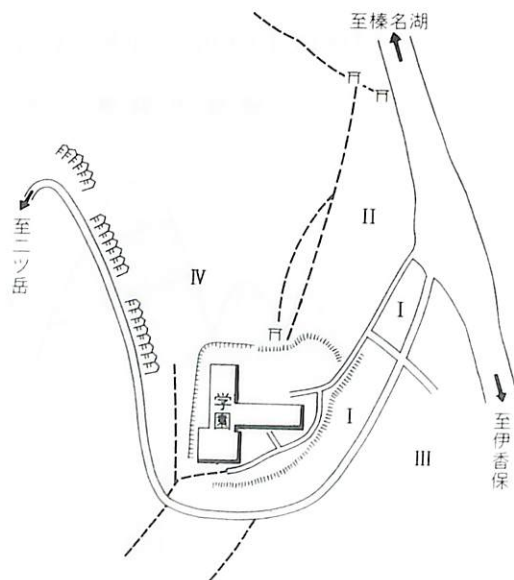
植物の垂直分布



榛名高原学園付近の植物

植物名の配列は下図の矢印順による。

I. 付近に見られる主な木本植物 オノエヤナギ (ヤナギ科) ヤマツツジ (ツツジ科) ヤマザクラ (バラ科) イヌザクラ (バラ科) イタヤカエデ (カエデ科) ハリギリ (ウコギ科) ズミ (バラ科) アキグミ (グミ科)	II. 付近に見られる木本植物 ヤマネコヤナギ (ヤナギ科) タラノキ (ウコギ科) ヤマハンノキ (カバノキ科) イヌコリヤナギ (ヤナギ科) ヒメヤシャブシ (カバノキ科) ヤシャブシ (カバノキ科)
III. 付近に見られる木本植物 アカマツ (マツ科) リョウブ (リョウブ科) シラカンバ (カバノキ科) カラマツ (マツ科) ミズキ (ミズキ科) ミスナラ (フナ科) ニワトコ (スイカズラ科) ニシキウツギ (スイカズラ科) クマシデ (カバノキ科) マユミ (ニシキギ科) タラノキ (ウコギ科) ヤマモミジ (カエデ科) ウコンバナ (クスノキ科)	IV. 付近に見られる木本植物 ヤマハンノキ (カバノキ科) サワフタギ (ハイノキ科) ウリハダカエデ (カエデ科) ヤマツツジ (ツツジ科) ミスキ (ミスキ科) リョウブ (リョウブ科) マユミ (ニシキギ科) カラマツ (マツ科) トウコクミツバツツジ (ツツジ科) ホオノキ (モクレン科) サラサドウタン (ツツジ科) ムシカリ (オオカメノキ) (スイカズラ科) ミスナラ (フナ科) コアジサイ (ユキノシタ科) オオヤマザクラ (バラ科)



榛名高原の植物

太字は本誌中に写真があるもの。

				科	種		
種 被 子 植 物	種 被 子 植 物	種 被 子 植 物	種 被 子 植 物	単 子 葉 類	イ ネ カヤツリグサ サトイモ ツユクサ イグサ ユ リ アヤメ ラ ン	ヌカボ・ススキ・ミヤコザサ・アズマザキ カワラスゲ マイズルテンナンショウ ツユクサ ヤマスズメノヒエ タマゴワホトトギス・ショウジョウバカマ・コオニユリ・オオバギボウシ・ノ ギラン・ユウスゲ・ゼンテイカ・ミヤマエンレイソウ・エンレイソウ・シュロ ソウ・ヤマラッキョウ・ネバリノギラン・ハルナユキザサ・スズラン ノハナショウブ オノエラン・クモクリソウ・アツモリソウ	
				双 合 子 弁 花 類	科	草 本	木 本
					サクラソウ リンドウ カガイモ ムラサキ クマツヅラ シ ン コマノハグサ ハエドクソウ アカネ スイカズラ	サクラソウ・オカトラノオ・クサレダマ リンドウ・センブリ・アケボノソウ イケマ・スズサイコ オニルリソウ シモバシラ・ウツボグサ・アキノタム ラソウ・キバナアキギク・ヤマハッカ ママコナ・クガイソウ・シオガマギク ハエドクソウ オオバノヤエムグラ・カワラマツバ	クサギ・ムラサキシキブ
					オミナエシ マツムシソウ キキョウ キ ク ツツジ エゴノキ モクセイ	オミナエシ・コキンレイカ マツムシソウ キキョウ・ツルニンジン・ツリガネニ ンジン・ヒメシャジン・ヤマホタルフ クロ ヒヨドリバナ・キオン・モリアザミ・ ノハラアザミ・アズマヤマアザミ・コ ウリンカ ヤマニガナ・タカネニガナ・ヒメジョ オン・コウゾリナ・カセンソウ・オヤ マボクチ・ハバヤマボクチ・ヤマヨモ ギ・オトコヨモギ・シラヤマギク・オ ケラ・ウスユキソウ・ヤブレガサ・ノ コンギク・ヤマシロギク・アキノキリ ンソウ・ハコネギク・ヤマホウコ・ヤ ハズホウコ	ムシカリ・キバナウツギ・ニシキウツ ギ・ペニバナツバネウツギ・ミヤマ カマズミ
					クワ イラクサ タ デ ナデシコ ツリフネソウ	カナムグラ イラクサ・コアカソ タニソバ・イタドリ ツメクサ・フシダロセンノウ・カワラ ナデシコ ツリフネソウ・キツリフネ	ヒガゲツツジ・レンゲシシジ・ホツツ ジ・バイカツツジ・トウゴクミツバツ ツジ・コメツツジ・ヤマツツジ・サラ サドウダン エゴノキ ミヤマノボタ

榛 名 高 原 の 植 物 (続 き)

				科	種	
種 子 植 物	被 離 子 弁 花 葉 類	種 子 植 物	種 子 植 物	科	草 本	木 本
				キンボウゲ	ヤマオダマキ・カラマツソウ・ヤマトリカブト・サラシナショウマ・ミヤマカラマツ	クサボタン
				クスノキ	タケニグサ	ウコンバナ・アブラチャン・クロモジ
				ケ シ	キリンソウ	
				ペンケイソウ	チダケサシ・アカショウマ・ダイモンジソウ・ユキノシタ・ウメバチソウ	バイカウツギ・ウツギ・ノリウツギ・コアジサイ・ヤマアジサイ
				ユキノシタ	ツルキンバイ・イワキンバイ・シモツケソウ・ワレモコウ・キンミズヒキ・ヤマブキショウマ・ミツバシチグリ	テリハノイバラ・ウラジロノキ・ズミ・ナナカマド・カナウツギ・モミジイテゴ・シモツケ・ナワシロイテゴ・ノイバラ・コゴメウツギ
				バ ラ		マルバハギ・キハギ・ヤマハギ・クマ・ヤマフジ・ニセアカシア
				マメ		
				フウロソウ	ミツバフウロ・ハクサンフウロ・ゲンノショウコウ	アカメガシワ
				トウダイグサ	タカトウダイ	ヤマブドウ
種 子 植 物	被 離 子 弁 花 葉 類	種 子 植 物	種 子 植 物	ブドウ	オトギリソウ・トモエソウ・ミズオトギリ	
				オトギリソウ	アケボノスミレ・エイザンスミレ・フモトスミレ・タチツボスミレ	
				スミレ	ヤナギラン・イワアカバナ・マツヨイグサ	
				アカバナ		クマシデ・イヌシデ・アカシデ・シラカンバ・ダケカンバ・ヤシャブシ ヒメヤシャブシ・ウダイカンバ
				カバノキ		クリ・コナラ・ミズナラ・ブナ・イヌブナ・カシワ・アラカシ・シラカン
				ブ ナ		シナノキ
				シナノキ		イヌコリヤナギ・ヤマネコヤナギ・オノエヤナギ・ヤマナラシ
				ヤナギ		コミネカエデ・イタヤカエデ・ハウチワカエデ・タカオモミジ・オオイタヤイゲツ・カジカエデ・ウリハダカエデ
				カエデ	ウド	ニシキギ・オニツルウメモドキ・マユミ
				ニシキギ		トラノキ
種 子 植 物	被 離 子 弁 花 葉 類	種 子 植 物	種 子 植 物	ウコギ	ノダケ・シシウド・アマニュウ	アオハダ
				モチノキ		ヤマボウシ・ハナイカダ
				ミズキ		
				セ リ		ホオノキ
				モクレン		
				マ ツ		アカマツ・カラマツ・ツガ・モミ
				裸子植物		ヒノキ・アスナロ
				ス ギ		スギ
				ウラボシ	オシダ・ナンタイシダ・フクロシダ・ヘビノネコザ・イヌワラビ・ワラビ	
				シダ植物	ゼンマイ・ヤマドリゼンマイ	
胞 子 植 物	シダ植物	胞 子 植 物	胞 子 植 物	トクサ	スギナ	

〈(注) 科名及び種名は牧野新日本植物図鑑による〉

5～6月の花



アマドコロ (草原)



トウゴクミツバツツジ (亜高木)



サラサドウダン (亜高木)



ヤマツツジ (低木)



ズミ (コナシ) (亜高木)



マイヅルソウ (林内)



モミジイチゴ (低木)



オオカメノキ (ムシカリ) (亜高木)



タチツボスミレ (林内、草原)



フモトスミレ (林内、ニッ岳に多い)



ミツバツチグサ (草原)

6～7月の花



レンゲツツジ(手前)とヤマツツジの咲くつつじヶ原



ノハナショウブ(草原)



ヤマボウシ(高木)



ノリウツギ(低木)



シモツケ(低木)



ヤマオダマキ(草原)



オカトラノオ(草原)



ヤマホタルブクロ(草原)



ハルナユキザサ(林内)



ヤマブキシヨウマ(林内)



コアジサイ(低木)

夏の高原の花



キスゲ(ユウスゲ)の咲くつつじヶ原



ヤマハギ(低木)



リョウブ(亜高木)



ヒメシャジン



コキンレイカとハコネギク



ウスユキソウ(下)とヤハスボウコ(上)



コウリンカ(草原)



オオバギボウシ(草原)



シシウド(草原)



クガイソウ(林の周辺)



コオニユリ(草原)



カセンソウ(草原)



ツリガネニシジン(草原)



キキョウ(草原)

9～10月の花と実



ワレモコウ、マツムシソウ、アキノキリンソウ咲く草原



マツムシソウの花



フシグロセンノウ(林内)



ヤシャブシの実(高木)



イタドリ(草原)



ツリフネソウ(湿地、日陰)



サラシナショウマ(林内)



ノコンギク(草原)



キオン(林内)



コウゾリナ(草原)



モリアザミ(草原)



アズマヤマアザミ(草原)



ノハラアザミ(草原)



ヤマホウコ(草原)

秋の紅葉と冬の様子



ナナカマドの実



ムラサキシキブの実



マユミの実



カラマツ(黄～だいたい色)



ミズナラ(黄～赤又は茶色)



ウコンバナ(黄色)



イタヤカエデ(黄～赤色)



ハウチワカエデ(だいたい～赤色)



落葉した林(かもんヶ岳頂上より)



全面結氷した冬の榛名湖

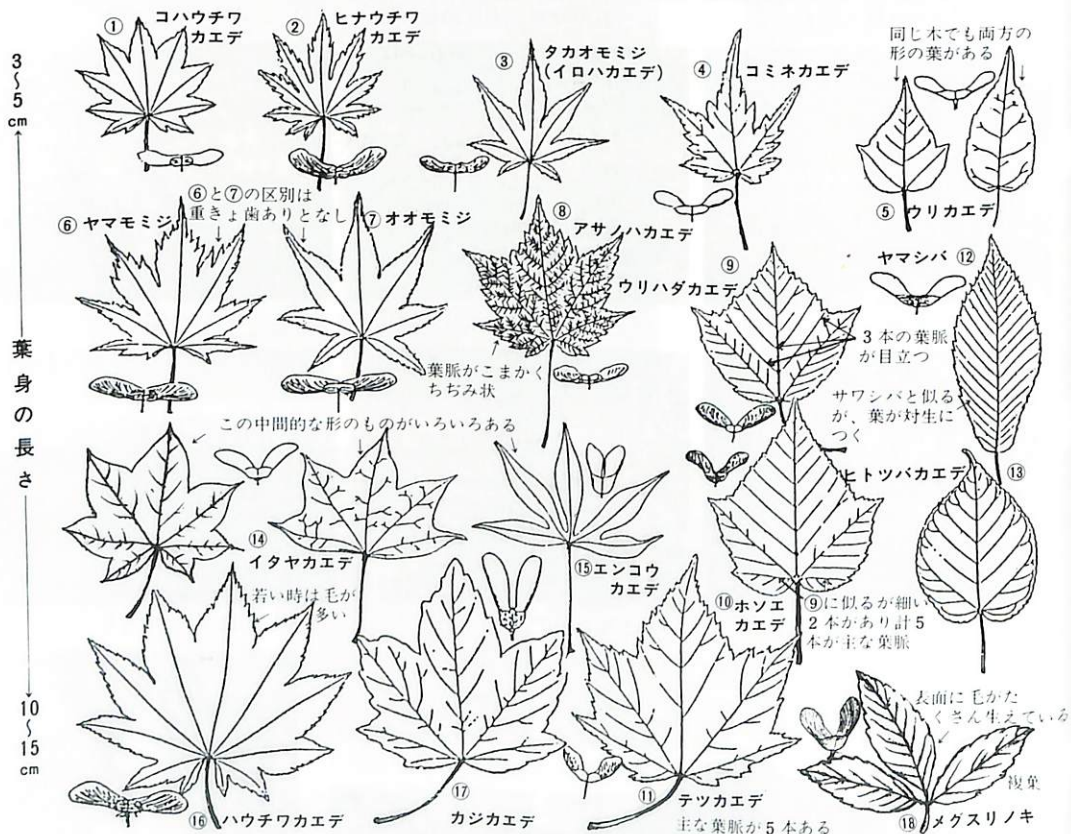


シモバシラの茎の氷結(11月)

紅葉する植物 秋になると、カエデ類、ミズナラ、シラカバなど、赤や黄、茶色などに紅葉する木が多い。

カエデ類は葉が対生につき、種子の形に特徴があります。

葉の形と大きさ、2つの種子のつく角度で種類がわかります。



(2) 動物

(1) コンチュウ類

日本のチョウは、約8科・102属・190種あるが、榛名山では、すでに8科・67属・109種も採集されており、夏の

昼は、色とりどりのアゲハチョウ、セセリチョウ、シジミチョウ、タテハチョウなどが見られる。

また、夜になるとヤマムガ、オオミズアオ、スズメガ、ヒトリガの仲間が、学園のまわりの照明燈に集まってくる。



チダケサシにとまる
ミヤマシジミ
(シジミチョウ科)



オカトラノオにとまる
ウラギンスジヒョウモン
(タテハチョウ科)

② 山の小鳥

高原学園には、小鳥たちのかわいらしい写真も展示してある。小鳥はきれいな声でさえずるが、動作が素早いのでじっくり観察することはむずかしい。そこで、なき声から鳥の名前を推測しながら楽しむことにしよう。

[鳥の鳴き声] …聞きなし〔実際の鳥の鳴き声を言葉で表し、このように聞こえるとみなすこと〕

カッコウ・・(♂)カッコー・カッコー、(♀)ピッ・ピッ・ピーー

ヤマガラ・・ツツビー・ツツビー

キレンジャク・・（低い声で）ツイー・ツイー

フクロウ・・ゴロスケ・ホッ・ホッ

アカゲラ・・キョッ・キョッ

サンコウチョウ・・ツキ・ヒ・ホシ・ホイ・ホイ

（月・日・星）

ツグミ・・（低い声で）キイー・キイー・キイー

コマドリ・・（馬のいな鳴きにて）ヒン・カラ・カラ....

オオルリ・・ピープルリ・ピーリ・ポピーリ・ピーリ

モズ・・キイーキイー・キチキチキチ

ウグイス・・ホーホケキョ・ヒーホケキョ

ゴジュウガラ・・フィーフィーフィー

ノスリ・・ピーー・ピーイー

ヨタカ・・（明け方）キョキョキョキョ

ホオジロ・・チッチ・ピーツツ・チッチ・チョッチイ

カケス・・ギャー・ギャー

チョロリンチチ

シジュウガラ・・ツツピー・ツツピー・チーペペ・チーペペ

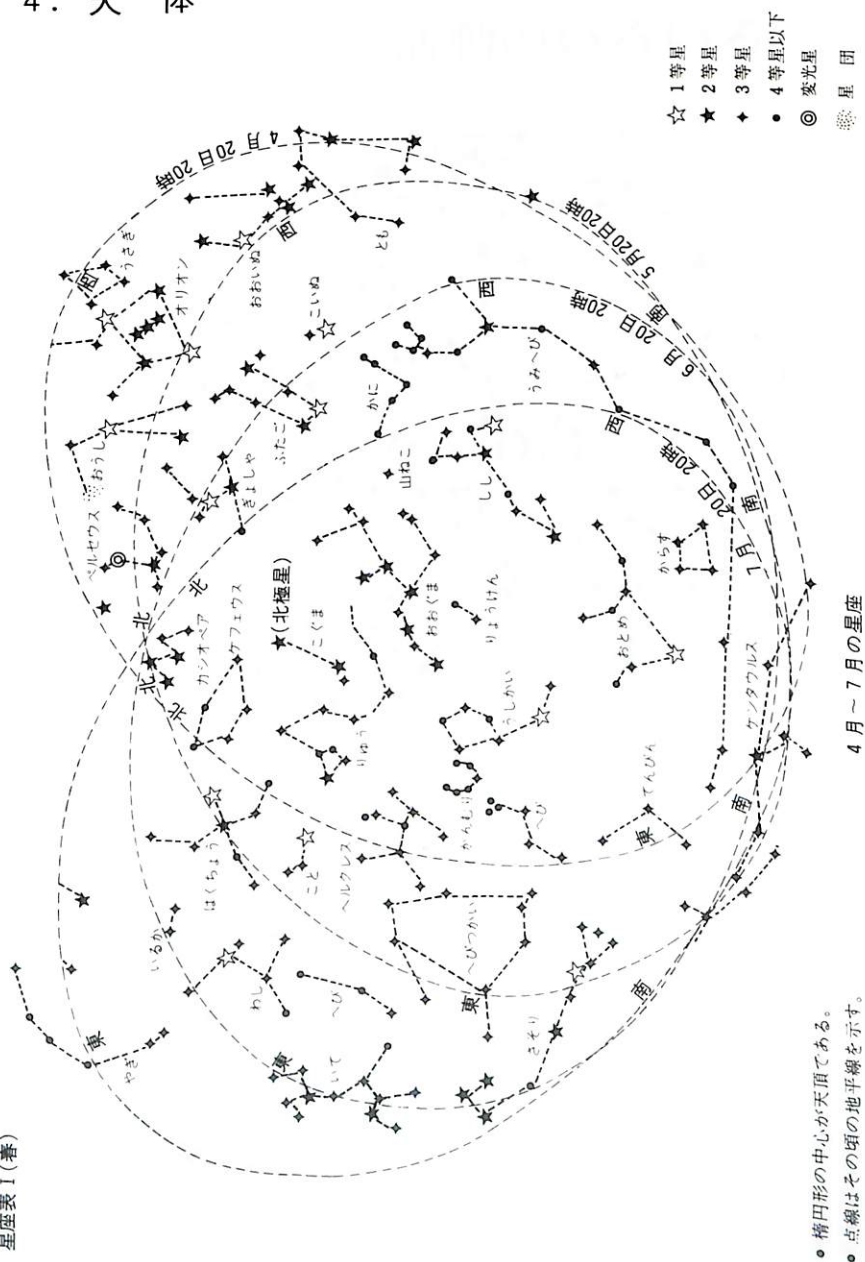
エナガ・・ジュリリリ・ジュリリリ.....

課 題 山道を歩きながら鳥の鳴き声をメモしておこう。

上の鳴き声に照らし合わせ、学園に帰って、写真でその姿を確かめておこう。

4. 天 体

星座表 I (春)



8月20日20時

北極星 (北)

北

南

東

西

おおかみ

さそり

へびつかい

へび

うしかい

てんじん

おとめ

おおくま

こぐま

りゅう

こと

わし

はくちょう

ケフェウス

ペガスス

アンドロメダ

かんおへ

さかく

おひし

おひつじ

くじら

やぎ

10月20日20時

- ☆ 1 等星
★ 2 等星
◆ 3 等星
● 4 等星以下
◎ 变光星
◉ 星团

8月～10月の星座

- 楕円形の中心が天頂である。
- 点線はその頃の地平線を示す。

Ⅵ. 楽しい活動のいろいろ

都会をはなれ、榛名高原の自然の中で、友だちと、楽しいいろいろな活動をしてみよう。ハイキングやレクリエーション活動など、この資料を参考に、工夫し、計画してみよう。

1. ハイキング

(1) ハイキングの心がまえ

- ア 自分たちの体力にあったコースを選ぶ。
- イ リーダーの指示に従い、自分勝手な行動をしない。
- ウ 自分の役割を果たし、お互いに協力しあう。
- エ 道標などの施設を傷つけたり、こわしたりしない。
- オ 植物をとったりしないで、自然を大切にする。

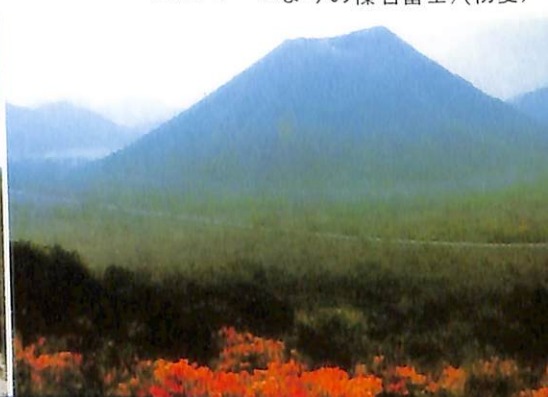
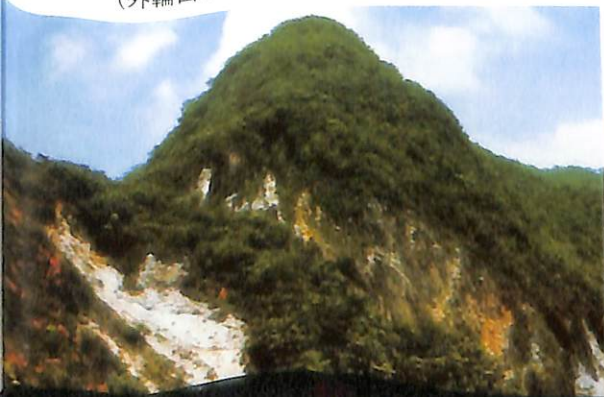
(2) 計画と準備

- ア 調査・目的地、コース、休けい場所、所要時間。
- イ 服装・長そで、長ズボン、帽子、手袋、厚手の靴下、はきなれた靴。
- ウ 持ち物・ナップザックなど両手が自由になるもの、雨具、水筒、食料、地図、資料、筆記用具、季節によっては防寒着。

(外輪山コースよりの相馬山)(初夏)

— 63 —

(外輪山コースよりの榛名富士)(初夏)



(3) モデルコース

ア 火口原コース

学園— $\frac{0.7\text{km}}{10\text{分}}$ —分岐点— $\frac{0.6\text{km}}{9\text{分}}$ —草原入口— $\frac{1.5\text{km}}{25\text{分}}$ —ロープ
ウェイ駅— $\frac{0.5\text{km}}{7\text{分}}$ —湖畔— $\frac{0.3\text{km}}{5\text{分}}$ —陸上スケートリンク
— $\frac{3.1\text{km}}{45\text{分}}$ —学園

カルデラの東部を占める広い草原を歩く。キスゲなどの花をたのしみながらカシワ林をぬう初歩的なハイキングコースである。約30分ほどの短い草原のコースであるが、生物の観察や風景描写にはとてもよいコースである。榛名富士を目標にして、自由に林の中を散策することができ、ハイキングに自信のないものも楽しむことができる。

イ 湖畔周遊コース

学園— $\frac{2.8\text{km}}{56\text{分}}$ —湖畔— $\frac{1.6\text{km}}{24\text{分}}$ —ゆうすげ— $\frac{0.4\text{km}}{6\text{分}}$ —えぼしが
岳登山口— $\frac{1.2\text{km}}{18\text{分}}$ —かもんが岳登山口— $\frac{1.5\text{km}}{22\text{分}}$ —陸上スケ
ートリンク— $\frac{3.1\text{km}}{45\text{分}}$ —学園

カルデラ湖特有の澄んだ美しさをたたえている湖のほとりを歩く散歩道。湖畔から県営キャンプ場を通ってゆうすげに向かう道は、木立の間から小鳥のさえずりが聞こえ、木々の香もかぐわしい静かな山道である。湖を左に見ながら歩く約1時間半のこのコースは、きっと榛名のハイキングの中に、よい思い出を残してくれるだろう。

(ロープウェイ駅付近よりの榛名富士)(夏) — 64 —



ウ 外輪山コース

学園	1.2km 20分	相馬山下分岐点	1km 15分	磨墨峠	0.7km 10分
松の沢峠	1.5km 30分	七曲峠	1.5km 35分	天目山	1.5km 35分
氷室山	1km 20分	天神峠	4km 60分	学園	

榛名山頂の東から南にのびる外輪山を尾根伝いに歩くコースで、峠を横ぎりながら右手にカルデラ湖（榛名湖）、中央火口丘（榛名富士）が一望できる。峠の切り通しで、地層の断面も観察できる。松の沢峠からさらにつつじ峠・見晴台・七曲峠・天目山と防火線伝いに天神峠へのびているが、雑木林の中で展望ができないことと、道がはっきりしないことなどから、よく知ってる人の同行が必要である。

エ 榛名富士コース

学園	3km 50分	ゆうすげ登山口	2km 50分	榛名富士山頂	
	2km 30分	ロープウェイ下登山口	2.7km 45分	学園	

山上のカルデラの中央にとび出した火口丘（1,391m）で、登山路は南と北のすそのから山頂をめざしているが、ロープウェイも利用できる。山頂駅近くに展望台があり、頂上はそこから3分ほど上ったところで、小さいけれども、りっぱな神社が置かれている。ながめは360度、まさに榛名山の展望台である。東にある二ツ岳のつけ根に、わたしたちの高原学園を見つけることができる。



オ ^{え ぼ し} 烏帽子が岳コース

学園 $\xrightarrow[50\text{分}]{3.0\text{km}}$ ゆうすげ $\xrightarrow[50\text{分}]{1.0\text{km}}$ 山頂 $\xrightarrow[35\text{分}]{1.0\text{km}}$ ゆうすげ
 $\xrightarrow[50\text{分}]{3.0\text{km}}$ 学園

「ゆうすげ」のすぐ近くから登る道と、しばらく湖畔にそって歩いたところから登る道とがあるが、いずれも同じように、ポツポツと汗をふき出しながらの急な登りが続く。遠くから見てもわかるように、もくっと頭をつき出した山頂(1,366m)に至ると、谷川連峯を前に、榛名山のカルデラを後にしての雄大な景観が楽しめる。ゆうすげまでの往復では、火口原の中に適当な道をみつけて散策するのもよい。

力 相馬山コース

学園 $\xrightarrow[20\text{分}]{1.2\text{km}}$ 相馬山下分岐点 $\xrightarrow[25\text{分}]{0.8\text{km}}$ 山頂 $\xrightarrow[20\text{分}]{0.8\text{km}}$
 相馬山下分岐点 $\xrightarrow[20\text{分}]{1.2\text{km}}$ 学園

外輪山めぐりのコースでだらだらの登りを20分、磨墨峠方面との分岐点に出る。鳥居をくぐってにわかにはけわしい登りが始まり、くさりや鉄ばしごのついた岩をよじ登るようにして山頂(1,401m)に出る。山頂からの展望は雄大で、関東平野から遠く富士山を望むこともできる。ここは、途中にある多くの鳥居や石碑などでわかるように、古くから山岳信仰の修行場として知られた山でもある。学園横の「黒髪神社」の碑はこの山の入り口を示している。

(鳥帽子ガ岳頂上よりの展望)(秋) - 66 -



キ 森林公園コース(1)

学園 $\frac{1\text{ km}}{20\text{ 分}}$ オンマ谷風穴 $\frac{0.7\text{ km}}{10\text{ 分}}$ オンマ谷 $\frac{1.4\text{ km}}{30\text{ 分}}$ む

し湯跡 $\frac{0.7\text{ km}}{15\text{ 分}}$ もみじの広場 $\frac{0.6\text{ km}}{10\text{ 分}}$ ワシの巣風穴

$\frac{2\text{ km}}{45\text{ 分}}$ 学園

従来は二ツ岳へのコースしかなかった学園の下方だったが昭和55年に伊香保森林公園がオープンしてから変化に富む遊歩道が利用されるようになった。小規模ながら風穴もあり、相馬山の火口壁をみながら歩くごつごつしたオンマ谷コース。地形図を見ながらその他にもコースが選べるが、車の入らない遊歩道を使って、体力別のグループでコースを選定して歌でも歌いながら歩いたら実に楽しい半日コースになるだろう。このコースでは、学園を出発してから下り一方の道が続き、帰路に入ってから上り一方になるので、とくに帰りの時間は十分にゆとりを持つように計画したいものである。車道を利用すると、榛名・伊香保間のバス道にも出られるが、これはかなりまわり道になるので時間も必要となる。

(相馬山の頂上・黒髪山神社)(夏)



(オンマ谷・火口原風穴群)(春)



ク 森林公園コース(2)

学園— $\frac{1\text{ km}}{20\text{ 分}}$ —オンマ谷風穴— $\frac{1.5\text{ km}}{30\text{ 分}}$ —雄岳— $\frac{2\text{ km}}{25\text{ 分}}$ —わしの巢風穴

— $\frac{0.6\text{ km}}{10\text{ 分}}$ —もみじの広場— $\frac{1\text{ km}}{20\text{ 分}}$ —野鳥観察園— $\frac{0.3\text{ km}}{10\text{ 分}}$ —樹木見本園

— $\frac{0.2\text{ km}}{5\text{ 分}}$ —つつじの広場— $\frac{0.3\text{ km}}{10\text{ 分}}$ —つつじヶ丘展望台— $\frac{1.2\text{ km}}{25\text{ 分}}$ —むし

湯跡— $\frac{1.4\text{ km}}{30\text{ 分}}$ —オンマ谷— $\frac{1\text{ km}}{30\text{ 分}}$ —学園

森林公園コース(1)をゆったりと足をのばしたのがこのコースである。オンマ谷風穴から雄岳はまさに山のきびしさを知るとともに山頂の雄大なけしきは山登りのすばらしさを実感させてくれよう。

わしの巢風穴からはゆったりと自然にふれながら歩くことができるが、もみじの広場から野鳥観察園までは車道を利用するので十分な注意が必要である。つつじヶ丘展望台からのけしきを楽しんだ後はゆるやかな上り下りがあるが、きれいに整備されている山道なので安全に利用できる。



もみじの広場の秋



むし湯跡(春)

2. キャンプファイヤー

(1) キャンプファイヤーの意義

キャンプファイヤーは、一つの火を囲む友情の環であって、神秘的な儀式と楽しいレクリエーションは、学園生活の中でも、私達に忘れられない感銘を与えてくれるだろう。

(2) 準備

ア プログラムと行動についての準備

- ・個人またはグループ内の予定の打ち合わせ
- ・歌詞、音譜を見なくても歌える準備
- ・ファイヤー前の約束
- ・入退場方法、順序
- ・だし物等の順序
- ・音響効果の工夫
- ・服装
- ・必要があれば敷物の用意
- ・ファイヤー終了後の始末

イ 準備するもの

- ・トーチ（たいまつ）
- ・防火用の水、砂
- ・薪、そだ、焚きつけ点火材料、石油など
- ・井げたがくずれないように、針金、釘、石など
- ・必要に応じて音楽、マイクなどの準備



燃えろよ燃えろ

(3) キャンプファイヤーの運営と役割

ア 営火長（ファイヤーチーフ）多くの場合キャンプ長が当たり、営火・営火長の言葉等、キャンプファイヤーを通して与えよう考えようとするを全体に呼びかける。

イ 進行係（司会者-ファイヤーマスター）プログラムの進行を図り、しかも臨機応変の演出力により、全体の雰囲気をもり上げファイヤーのねらいを実現する。

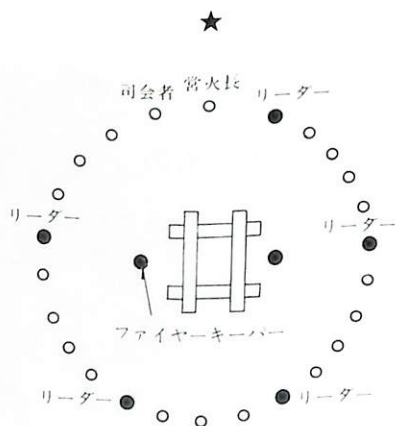
ウ 火の係（ファイヤーキーパー）プログラムに合わせて火を燃やす係であり、火が最大の演出者であるならば、この係は目立ってはならないが、ファイヤーの最も重要な役割であろう。

(4) まきの積み方とすわる位置

井 げ た 式



北 極 星



(5) プログラムの例

1. 入 場・・・キャンパー着席
2. 営火到着・・・たいまつ等を用いる。
3. 点 火・・・キャンプソング(遠き山に日は落ちて)
4. 営火長のことば・・・
 - ・火は人生の道しるべであり、世の中を明るくする。
 - ・火はすべてのものを焼きつくす力であり、光と熱とを与えてよい行いを示している。
5. 歌・・・・・・・・燃えろよ燃えろ
6. 楽しいつどい・・・歌、寸劇、フォークダンス、詩の朗読、その他
7. 誓いのことば・・・暗黒の中に燃える火はわれらの望みであり、感謝であり、愛の力でもある。われらはこの火の意味を心の中におさめ、明日からの力として、学校や家庭の中でまた社会のために、燃やし続けていこう。

(6) 注意すること

- ・学園の庭で行う時は各部屋の電灯を消すと効果的である。
- ・網戸を閉めておく。
- ・参加する前に、あらかじめ寝るときの用意をしておく。
- ・終了後の火の始末を完全に行う。

3. 飯ごう炊さん

現代の文明の中で、薪を燃やして食事をつくるということとはほとんどなくなったが、この機会に、大自然の中で薪を使い飯ごうでご飯をたく楽しさを味わってみよう。

(1) 場所と設備

- ・学園駐車場の脇（榛名湖畔キャンプ場にもある民営）
- ・カマドの数2個直列のもの15で計30個
- ・耐火煉瓦積の本格的なもの
- ・洗場 蛇口6ヶ付きのもの3ヶ所で、蛇口数18ヶ

(2) 計画と準備

献立ては事前に各班で考えておこう。料理の時間・片付けの時間は予定よりかかるので、班員の役割・仕事の手順を決めておこう。

ア 学園に用意されているもの

- ・さいばし、薪、アルミ箔^{はく}、たわし、しゃもじなど

イ 各学校で用意するもの

- ・各班 軍手、ふきん、ビニール袋（大・小）、お皿（大・中・小）
- ・個人 はし、茶わん（せとものは避ける）、新聞紙、
インスタントカレーなど、料理に必要なもの
- ・学校 洗剤、マッチ

注意事項……終了後、後始末をきちんとし、ごみは全部、

指定された場所に運び、始末する。

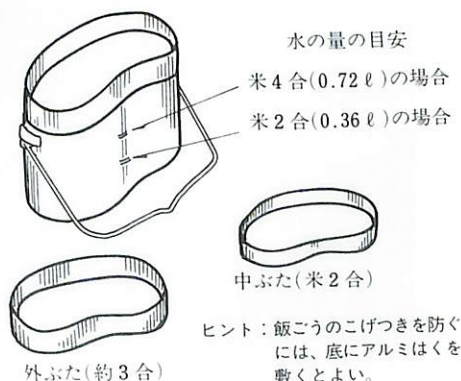
(3) ご飯のたき方

飯ごうはキャンプ用具として必需品であり、ご飯もたければ、副食もつくれるし、食器にも使えるので非常に便利である。飯ごうはふたと中ぶた、身との三つよりなり、中ぶたには約300グラム（2合）の米が入る。米のとぎ方は、とぐというより洗うようなつもりで、水を入れてから力を入れずにかきまわして、水を捨て、3・4回くりかえせばよい。

火にかける時は、火が十分に燃えて、火炎が飯ごう全体を包むようになってからかける。そして、湯気がふたを押しあけるようになったとき、吹きこぼれのないように気をつける。水がなくなって、米の表面全体にえくぼのような小穴ができていれば、もうたき上がったわけで、近くの地上にふたを下にして10分もおくとうまく出来上がる。



飯 ご う



(4) 学園の炊さん場

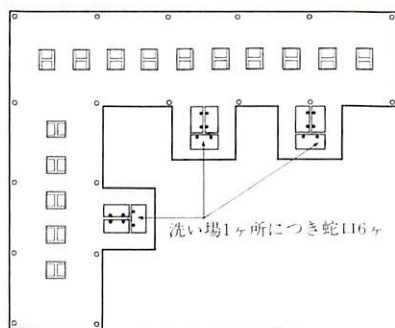


洗い場

図のように
炊さん場は、
カマド30個、
蛇口が18個つ
いている。カ
マドの間隔は

1 m以上あいている。火を燃し
ていても自由に歩ける。

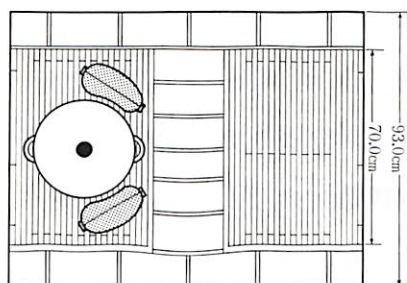
洗い場は写真にあるように、
1ヶ所で12名ぐらいが使えるも
のが3ヶ所ある。人数の多い学
校は割り当てを考えると良い。



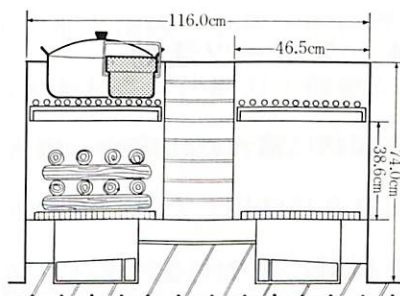
炊さん場平面図



炊さん場全景



平面図



断面図

カマドは図に示したように、2つずつ背中合せになっている。また、火床となべの距離は、ブロックなどを使用した時に比べかなり長いので、よくもえるが薪が^{まき}多く必要になる。したがって火をつけてからなべや飯盒^{はんごう}を乗せるのではなく、乗せてから火をつけるようにする。また、大きさがあるので、なべや飯盒は図や写真のように一緒に乗せると良い。

炊事が終わったあとの火の仕末や残飯の仕末は、先生の指示にしたがってきちんとする。



かまど



炊さん光景

4. スポーツ活動

起状に富んだ山容や、広大な火口原など、自然の地形を自由自在に活用したり、湖畔近くの磨墨^{するす}峠の下にあるグランドを利用したりするスポーツ活動は、春や秋の高原における楽しい思い出となるに違いない。

きちんと整備されたグランドがなければ……、ととのった施設がなければ……などと考える必要はない。広大な自然の地形があれば、あとはわれわれの工夫一つでどのようなにも楽しめるものである。ここで考えられるスポーツ活動のいくつかをあげてみよう。

(1) オリエンテーリング

オリエンテーリング（以下、OLと略する）は、最近大流行しているが、もともとはOrientierung Lauf（方向を決めて走る）というスポーツからきている。我が国では、走るOL・歩くOL・OL的活動を含めて広い意味でOLという言い方が用いられている。

OLは自然愛護の思想が根底にあり、自然から学び、自然を慈しむ気持ちを抜きにしては成功しない。また、体力と方向決定能力（知的能力）が要求される。

つまり、速く走り通す体力だけでなく、地図の読解力・

コース全体像を把握する能力・地形と地図とを統一的に理解する能力・的確な判断をし行動を起こす決断力・微細なものを見逃さない集中力・軌道修正できる柔軟性などの総合的な知的能力が必要である。それだけに、シルバーコンパスの使い方をはじめ、事前の細かい学習も必要である。

ポイント O L は、次の手順で行うのが普通である。

- ①説明：競技の注意はもとより、事前に地図の読み方やシルバーコンパスの使い方を十分理解する。危険地区の確認も必要である。
- ②スタート：1分間隔程度でスタートするとよい。その3分前には使用する地図やコンパスを確認する。
- ③マスターマップ：そのときのコースにおけるポストの位



オリエンテーリングのポスト



オリエンテーリングのポスト

置などを記入する。△印がスタート○印がポスト◎印がゴールというのが普通。正確に記入できたらレッツゴー。

④ゴール：グループ全員が一緒にゴールすること。

以上のように行い、所要時間とペナルティーなどが加算されて順位が決定される。

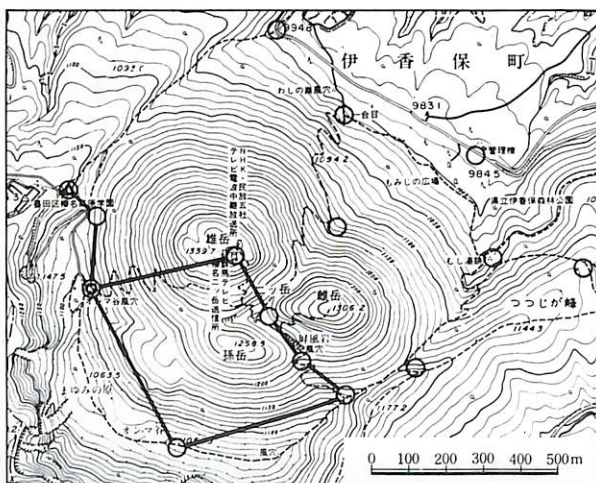
ここで区内中学校の実例をあげてみる。男女混合のグループ 5～7 名

ごとに学園をスタートし、森林

公園コースに沿ってオンマ谷風

穴まで下り、

そこから雄岳に登り、屏風岩を



終て、オンマ谷へ下る。さらに谷に沿って、オンマ谷風穴までもどる。このコースだと、全部で8ポスト、距離にして約4km、ゆっくり歩いて3時間程度のコースとなる。途中数カ所でチェックを受け、ほとんどの時間を自分達だけで行動するという点でも、生徒自身の自主性がそだつなど、魅力にあふれた活動になる。

(2) 追跡ハイキング

オリエンテーリングに似ているが、地形図やシルバーコンパスを使わず、道標がわりの標識をつぎつぎと追いながら、関門で課題を解決しつつゴールに向かうものである。

男女混合数名でグループをつくり、時間差をつけてスタートする。あらかじめ設置された、赤や黄などの布ぎれをめじるしとしてコースを進む。途中の関門では「置き手紙」を捜し、その中に書かれた課題を全員で解決する。なぞ・なぞ・とんち問答・スケッチ・詩作などから授業の内容に至るまで、さまざまである。こうして、すべての課題を順序通り終わらせて、誰よりもはやい時間でゴールしたグループが勝ちとなる。

(3) スケッチハイキング

足の弱い人・体力のないグループは、のんびり散策を楽しみながら、高原の風景をスケッチしてみよう。時間にとらわれることなく、のんびりと高原を歩いてもよいが、もし、これをゲーム的にしようと考えたら、スタート・ゴールを決め、途中のチェックポイントで課題スケッチを行い、ゴールしたとき、その時間とスケッチ内容の評価を合計して、勝負を決めるようにする。弁当持参で行くとさらに楽しいだろう。

(4) クロスカントリー

走ることが流行している最近、山野を自在にかけめぐるクロスカントリーなどは、つつじが原あたりを中心にして絶好のゲレンデが展開しているから、実に楽しい活動となるに違いない。

紅白の旗をたてて旗門を作り、全旗門を順に通過してくればよい。さしあたり、磨^{する}墨^す峠をスタート・ゴールにしたら走る選手の姿を一望にできるし、起伏のあるコースがつくれよう。峠から湖方面に向かっておりたあと、グラウンド付近から大きく右の方に回り、バス道ぞいにジグザグのコースを作って学園方面へつつじが原を横切る。原が終わろうとするあたりで、右回りに原の端を走りぬけて峠にもどる。1周1～3kmぐらいに、体力とにらみ合わせてコースを設定し、グラウンドの球技と組み合わせて実施すると変化も生じて楽しさ倍増である。力のあるグループがやるなら、記録をとって競走させてもよいし、弱いグループなら、ラリー形式にするのもおもしろいだろう。

(5) ラリー

さて、そのラリーだが、一定区間を決められた時間で歩く競技と考えてみたらよいだろう。(1)、(2)と同じように学園発着で、外輪山コース・つつじが原・湖畔などに適当に

設定されたチェックポイントを通過しながら回ってくる。ポイント間をほぼ1 kmぐらいにして、ここを15分で歩くように定められてあれば、時計を使わずに時速4 kmのスピードで歩く工夫もしなければならぬわけである。

(6) 駅伝競走

ある程度体力がそろっているグループの対抗としては、駅伝競走もおもしろいものである。コースとしては、学園から外輪山コース・磨墨峠・バス道を回って学園にもどるものや、湖畔一周・榛名富士の山麓一周など、コースはさまざまにとれる。(4)、(5)の要素などを入れてやるのも楽しいし、工夫一つでどのようなにもできよう。

(7) 球 技

ボールを使わず、自然の山野を自在に利用してのスポーツ活動を紹介してきたが、2か所にあるグラウンドを使っての球技にもふれてみよう。サッカー・ハンドボール・ソフトボールなど、学校でやるそのままより、設備のないところでやるのだから、それなりにルールの約束など、前もって決めておき、ミニ・サッカーなどの形式で全員がいつせいにやれるよう、また、(1)～(6)までの組み合わせを入れた内容も工夫できる。独創的なボールゲームを考案することが、いっそう楽しい一日をつくることにつながる。

5. 室内レクリエーション

榛名高原に限らず、山の天気は変わりやすい。せっかく計画したハイキングやキャンプファイヤーが出来なくなることが多い。その時のためにも、学園の多目的室や各部屋を使って、みんなが楽しめるレクリエーション活動を計画しておこう。

(1) 芸能的なもの

ア 映画会・・・学園の映写機、ビデオを使って、映画会を開いてみよう。学園のフィルムが少ないので、前もって学校やセンターのフィルムを借りておこう。

イ 音楽会・・・多目的室には、ピアノとステレオがある。グループごとのコーラスだけでなく、カセットやギターなど準備して行くと、より変化のある楽しい音楽会になるだろう。

ウ 演芸会・・・日頃の腕自慢、のど自慢を披露して、楽しいレクリエーションのひとつを過ごそう。

グループごとのコーラスや寸劇も楽しいものだ。ただ全体のことを考えないで自分たちだけが楽しむようなことは、つつしみたいものである。

手品や落語なども練習して行くと、うけることまちがいないだろう。

怪談などは、いちばんよろこばれるかもしれない。短いものでもよい。地名など、榛名の山、湖、峠などにおきかえたり、灯を消したり、懐中電灯を効果的に使ったり、演出を考えてみよう。

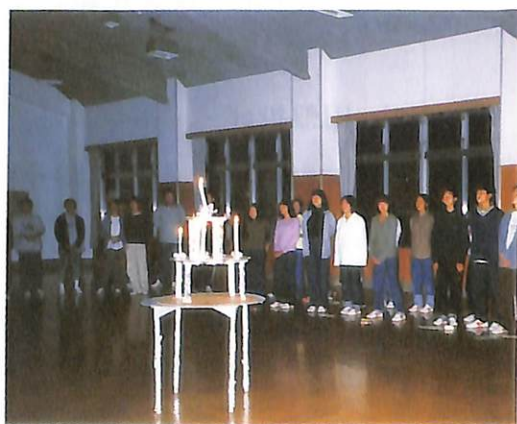
エ その他・・・きもだめし、お化け屋敷などもおもしろそうだ。廊下や部屋の電灯を消し、いろいろな道具や絵などで雰囲気を出してみよう。

全員が食堂や多目的室に集合し、そこから、ひとりまたはふたりずつ、各部屋を回らせる。わかっていても、何となくこわいところがおもしろい。



楽しい室内ゲーム

キャンドルサービス



(2) スポーツ的なもの

ア 卓球大会・・・学園の 8 台の卓球台を使って、大会を開いてみよう。班別、部屋別か、クラス別か、また、リーグ戦かトーナメント方式か、時間や台数、出場人数を考えて計画しよう。なるべく大勢参加して、みんなで楽しめる大会にしよう。

イ 室内オリンピック・・・オリンピック大会の種目を工夫して、総合大会を開いてみよう。開・閉会式の式典、入賞、得点、表彰など、レクリエーション系の腕のみせどころだ。どんな種目をどうやったらよいか。例をあげてみよう。

(ア) 100 m 走・・・風船をうちわであおぎながらゴールまで到達する。

(イ) やり投げ・・・ストローやこよりを、やり投げのフォームで投げる。

(ウ) 円盤投げ・・・ボール紙、ダンボールなどを円形に切つて、目標に近く投げる。

(エ) 走り高跳び・・・足の裏以外を床につけずに、くぐれる低さを競う。走り高跳びの要領で試技を行い、順位をきめる。

(オ) 背泳ぎ・・・背中を床につけて、後ろ向きで進む。

(カ) 馬術競技・・・ひとりが馬となり、ひとりを背にのせる。

馬は目かくしをして、障害（ダンボール箱など）を越えてゴールする。

(キ) バスケットボール・・・ポートボール台を使って、一定の距離からテニスボールなどをバウンドさせて入れる。

その他、走り方、跳び方、投げ方や用具などを工夫すれば、楽しい競技がいくらかでも作り出せるだろう。

[レクリエーションで使える学園にある主な機材など]

●16ミリ映写機 ●スライド映写機 ●ピアノ ●マイク・アンプなど 放送用機材 ●アコーディオン ●O・H・P ●V・T・R	●卓球台 ●バレーボール ●サッカーボール ●ソフトボール ●バスケットボール ●グローブ・ミット ●バット
--	--

その他、星座早見盤、天体望遠鏡、携帯メガホン、CDラジカセなどがある。

(3) キャンドルサービス

キャンドルサービスは、ひとつの儀式として、最後の晩に計画しよう。移動教室のしめくくりとして、楽しかったこと、つらかったこと、ひとつひとつを胸に、思い出に残る行事にしよう。

ア プログラム (例)

- 1 入 場
- 2 斉唱「遠き山に日は落ちて」(起立して)
- 3 点火(全員のローソクに点火)
- 4 点火のことば(生徒代表)
- 5 合唱(歌集を中心にして)
- 6 詩の朗読、報告、感想の発表など。
- 7 斉唱「雪山讃歌」「ほたるの光」
- 8 退場(場内一周後、出口でローソクの火を消す)

イ キャンドルサービスの注意

キャンドルサービスは、室内で火を使うので、十分な注意が必要だ。入退場の仕方や点火の方法、消火の確認方法など、しっかりと準備、計画をしておこう。

準備日程

[illegible]

生 活 時 程

日 \ 時	6	9	12	3	6	9
第一日				入浴	夕食	消燈
第二日	朝食			入浴	夕食	消燈
第三日	朝食			入浴	夕食	消燈
第四日	朝食					

連絡先一覧表

施設名	住 所	電 話
榛名高原学園	群馬県北群馬郡伊香保町 字榛原588番地	0279-72-2188 FAX 0279- 72-4740
原 沢 医 院	群馬県北群馬郡伊香保町 大字伊加保184-3	0279-72-2503
伊香保森林公園関係		
群馬県林務部自然保護対策室		0272-23-1111
伊香保町企画観光商工課		0279-72-3155
伊香保森林公園管理棟		0279-72-5210
榛名公園関係		
県立榛名公園ビジターセンター	群馬県群馬郡榛名町大字 榛名山字沼ノ原845	0273-74-9215
県立榛名公園管理事務所（代表丸岡）	群馬県群馬郡榛名町大字 榛名山845	0273-74-9006
伊 香 保 町 役 場	群馬県北群馬郡伊香保町 大字伊香保116-1	0279-72-3155
榛 名 町 役 場	群馬県群馬郡榛名町下室 田900-1	0273-74-5111
墨 田 区 役 所	東京都墨田区吾妻橋1- 23-20	03-5608-1111
榛 名 山 神 社	群馬県群馬郡榛名町榛名 山849	0273-74-9050
榛名町歴史民俗 資 料 館	群馬県群馬郡榛名町榛名 山138-1	0273-74-9761

あ　と　が　き

昭和45年度から実施してきた中学校移動教室も、本年度で31年めを迎えます。親しまれてきた従来の学習資料「榛名高原学園」も改訂の必要性が生じ、資料改訂委員会を設けて検討を重ね、ここに改訂版を発刊することになりました。

これは、作成にたずさわってくださった委員の方々が、今までに参加した生徒や指導に当たった先生方の意見を十分に検討し、収集した多くの資料をもとに、情熱と英知を傾けて執筆・編集に努力されたおかげです。ここに心からお礼を申し上げます。（平成12年3月、指導室）

榛名高原学園資料改訂委員

委員長 園田俊雄（向島中学校長）

吉岡 隆（立花中教頭）河上雅人（立花中）折原 泉（豎川中）

小林 亨（吾二中）

○指導・助言 指導室長 牛島正廣

指導主事 鈴木義昭 野口敏朗 並木 正

須藤太郎 朝日滋也



榛名高原学園

平成53年3月31日新版発行
平成12年3月31日改訂発行

編集兼
発行

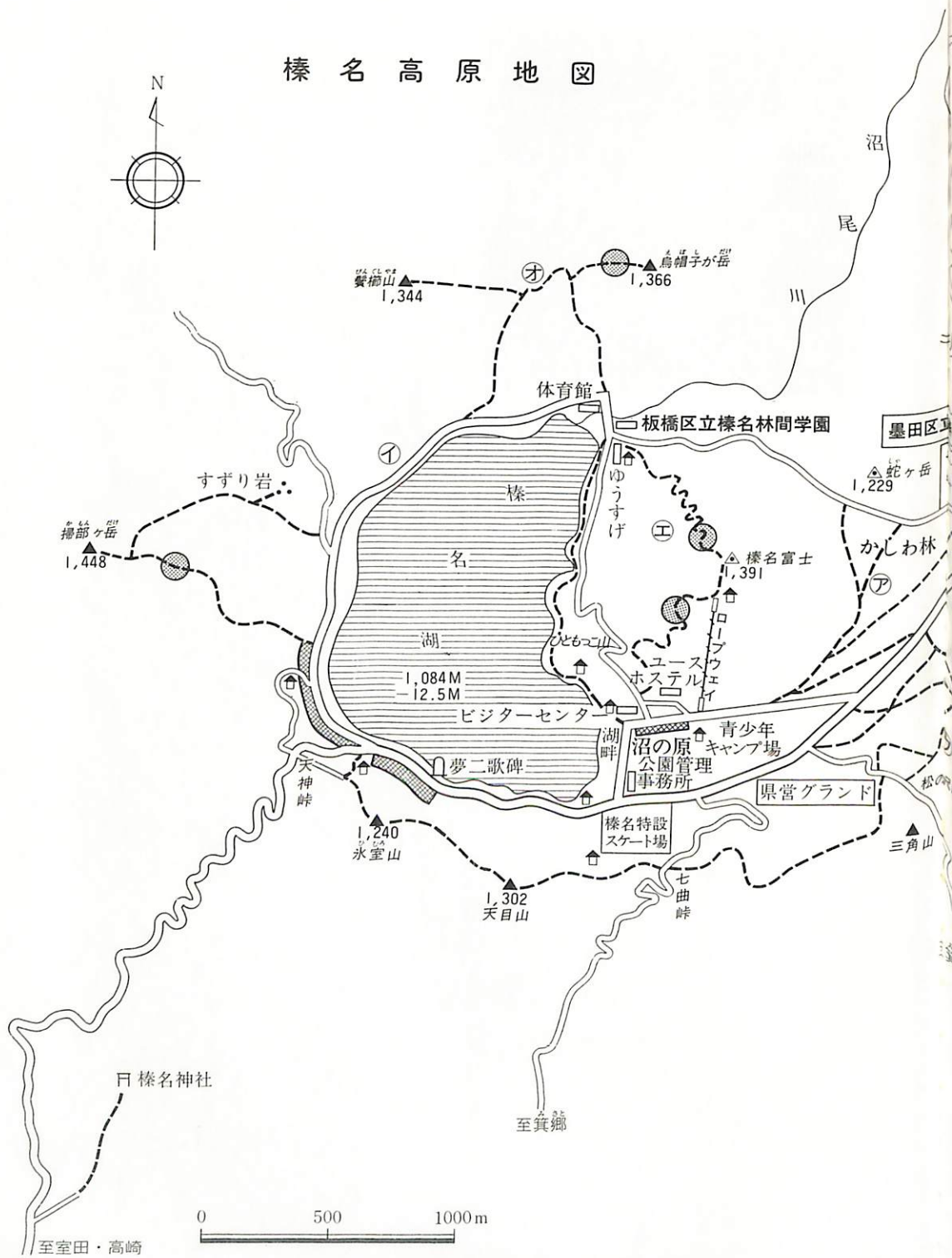
墨田区教育委員会

印刷

財団法人 国土地理協会

東京都港区西新橋3丁目5番2号

電話 (3433) 1561 (代)



墨田区立	中学校	
第2学年	組	番
氏名		